

香取市
地域福祉に関するアンケート調査
結果報告書

目次

I. 調査概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1
II. 調査結果.....	2
1. 日頃の生活のついて.....	2
2. 地域との関わりについて.....	6
3. 地域活動やボランティア活動について.....	16
4. 福祉について.....	27
5. 障害のある人とのふれあいについて.....	35
6. 地域福祉のあり方について.....	45
7. ご自身について.....	50
団体.....	55

1. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市民の福祉観、地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、意見・提言を広く聞き、地域福祉計画策定に反映するため実施しました。

2. 調査設計

- (1) 調査地域：香取市全域
- (2) 調査対象：無作為抽出による 18 歳以上の市民 3,500 人
ボランティア連絡協議会登録団体、まちづくり協議会 香取サポートセンター111 団体
- (3) 調査期間：平成 29 年 7 月 5 日～7 月 18 日（団体は 7 月 25 日まで）
- (4) 調査方法：郵送による配布・回収

3. 回収結果

	配布数	回収数	回収率
一般市民	3,500 件	1,182 件	33.8%
団体	111 件	50 件	45.0%

4. 報告書の見方

○回答結果の割合（％）はサンプル数（集計対象者総数）に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表についても同様です。

○複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は回答数に対する選択肢ごとの回答数のそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

○グラフ及び表の n 数（number of case）は、サンプル数（集計対象者総数あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。

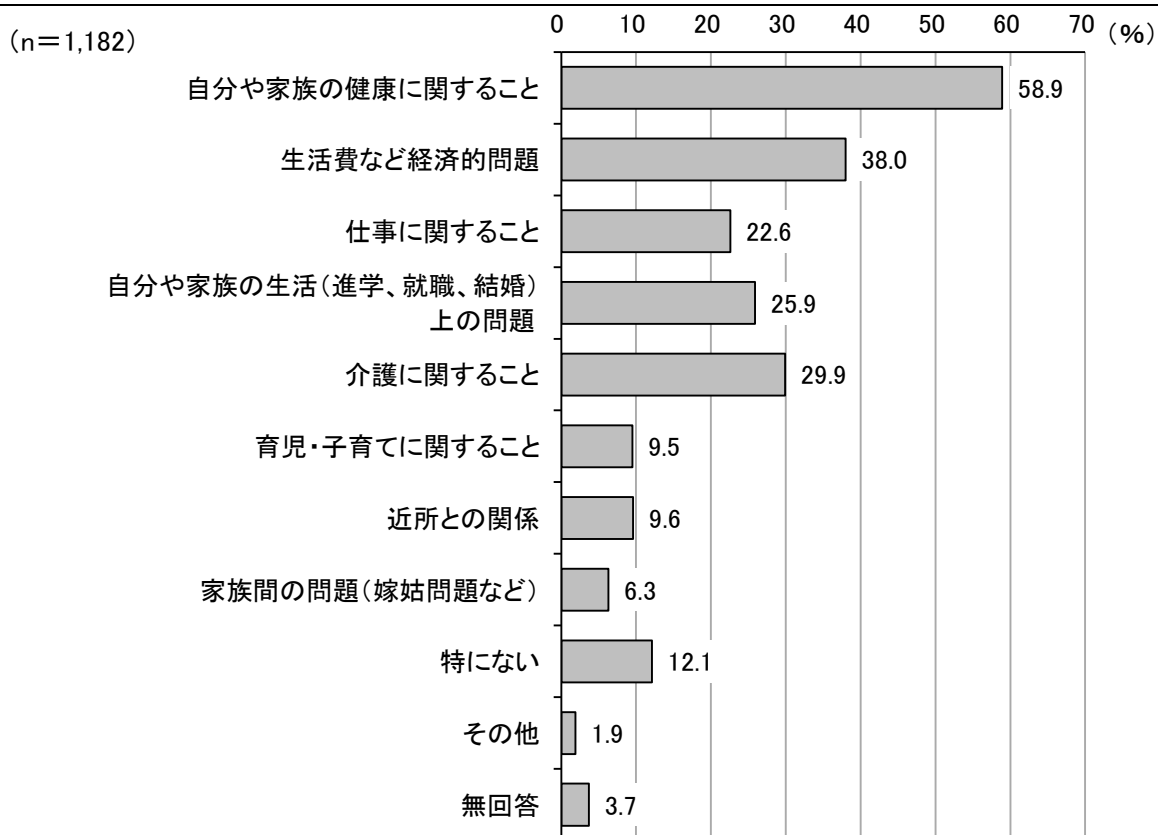
○クロス集計表について、各項目で第 1 位の数値に色を付けています。また、n 数が少ない項目については、参考値として掲載しています。

II. 調査結果

1. 日頃の生活のついて

問1 あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

毎日の暮らしの中で、悩みや不安を感じていることについては、「自分や家族の健康に関すること」が58.9%で最も高く、次いで「生活費など経済的問題」が38.0%、「介護に関すること」が29.9%となっています。



■年代別

年代別にみると、10・20歳代、30歳代では「仕事に関すること」が4割台前半から4割台後半と、40歳代以上では、「介護に関すること」が3割台前半から3割台後半と、他の年代に比べて高くなっています。また、30歳代、40歳代では「育児・子育てに関すること」が2割台半ばから3割台前半と高くなっています。

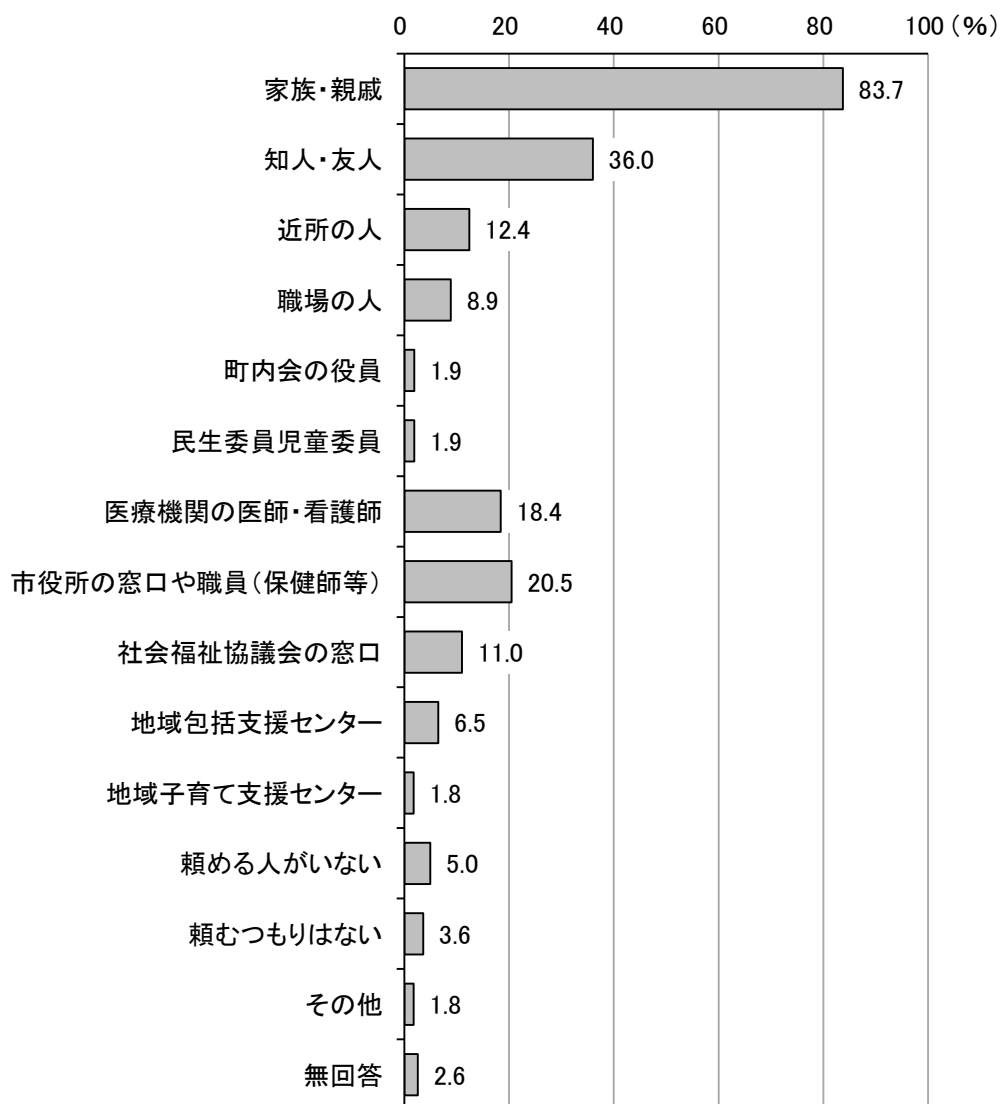
単位(%)		サンプル数(人)	自分や家族の健康に関すること	生活費など経済的問題	仕事に関すること	就職、結婚(上の生活)の問題	介護に関すること	育児・子育てに関すること
年代別	10・20歳代	84	38.1	44.0	47.6	48.8	14.3	11.9
	30歳代	104	50.0	59.6	41.3	28.8	10.6	33.7
	40歳代	159	57.2	53.5	35.2	34.0	32.7	24.5
	50歳代	215	62.3	43.3	29.8	35.8	38.1	7.9
	60歳代	332	64.8	32.8	12.3	20.2	33.4	1.5
	70・80歳代	247	61.9	20.6	5.3	11.3	30.4	0.8

単位(%)		サンプル数(人)	近所との関係	家族間(嫁姑)の問題	特になし	その他	無回答
年代別	10・20歳代	84	9.5	8.3	14.3	1.2	1.2
	30歳代	104	8.7	12.5	7.7	2.9	1.0
	40歳代	159	11.9	8.8	11.3	1.9	1.9
	50歳代	215	10.2	7.9	8.4	2.3	1.9
	60歳代	332	8.4	4.8	10.5	2.1	3.3
	70・80歳代	247	8.5	2.4	18.6	1.2	6.9

問2 あなたは、暮らしの中で相談や助けが必要なとき誰に頼みたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

暮らしの中で相談や助けが必要なとき頼みたい人については、「家族・親戚」が83.7%で最も高く、次いで「知人・友人」が36.0%、「市役所の窓口や職員（保健師等）」が20.5%となっています。

(n=1,182)



■年代別

年代別にみると、10・20歳代、30歳代、40歳代では「知人・友人」が4割台後半から5割台後半、10・20歳代、30歳代では「職場の人」が1割台後半から2割台前半、50歳代以上では「社会福祉協議会の窓口」が1割台と、他の年代に比べて高くなっています。

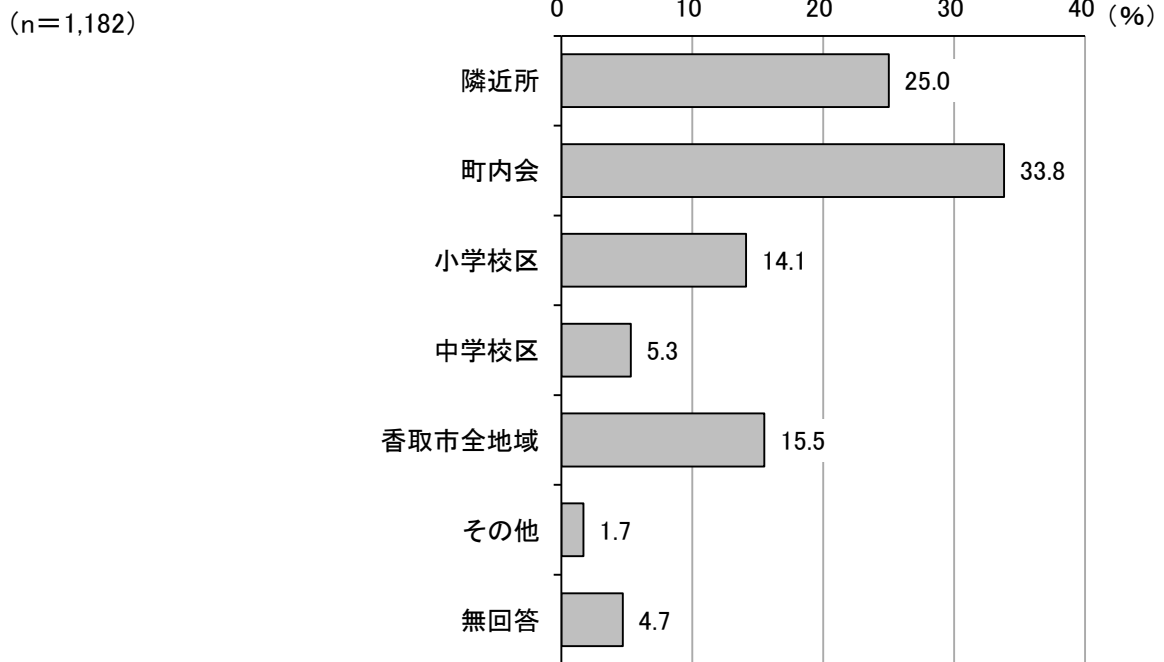
単位(%)		サンプル数(人)	家族・親戚	知人・友人	近所の人	職場の人	町内会の役員	民生委員児童委員	医療機関の医師・看護師	市役所の窓口や職員(保健師等)
年代別	10・20歳代	84	90.5	58.3	4.8	21.4	1.2	1.2	13.1	10.7
	30歳代	104	82.7	51.0	8.7	19.2	0.0	1.0	13.5	11.5
	40歳代	159	86.2	48.4	13.2	15.7	0.6	0.6	13.8	22.6
	50歳代	215	83.7	40.9	11.2	10.7	2.8	1.9	21.9	22.8
	60歳代	332	83.4	31.0	13.6	3.6	2.1	3.0	17.8	22.3
	70・80歳代	247	82.6	18.2	15.8	1.2	2.4	2.4	22.7	20.6

単位(%)		サンプル数(人)	社会福祉協議会の窓口	地域包括支援センター	地域子育て支援センター	頼める人がいない	頼むつもりはない	その他	無回答
年代別	10・20歳代	84	2.4	2.4	6.0	4.8	3.6	0.0	1.2
	30歳代	104	3.8	4.8	8.7	5.8	3.8	1.0	1.9
	40歳代	159	6.9	3.8	0.6	5.7	3.1	2.5	1.3
	50歳代	215	10.7	5.6	1.4	5.6	2.3	1.9	1.4
	60歳代	332	13.3	6.6	0.9	3.6	4.5	2.4	3.0
	70・80歳代	247	16.2	10.1	0.0	5.3	4.0	1.6	3.2

2. 地域との関わりについて

問3 あなたが考える「地域」の範囲をお答えください。(1つに○)

あなたが考える「地域」の範囲については、「町内会」が33.8%で最も高く、次いで「隣近所」が25.0%、「香取市全地域」が15.5%となっています。



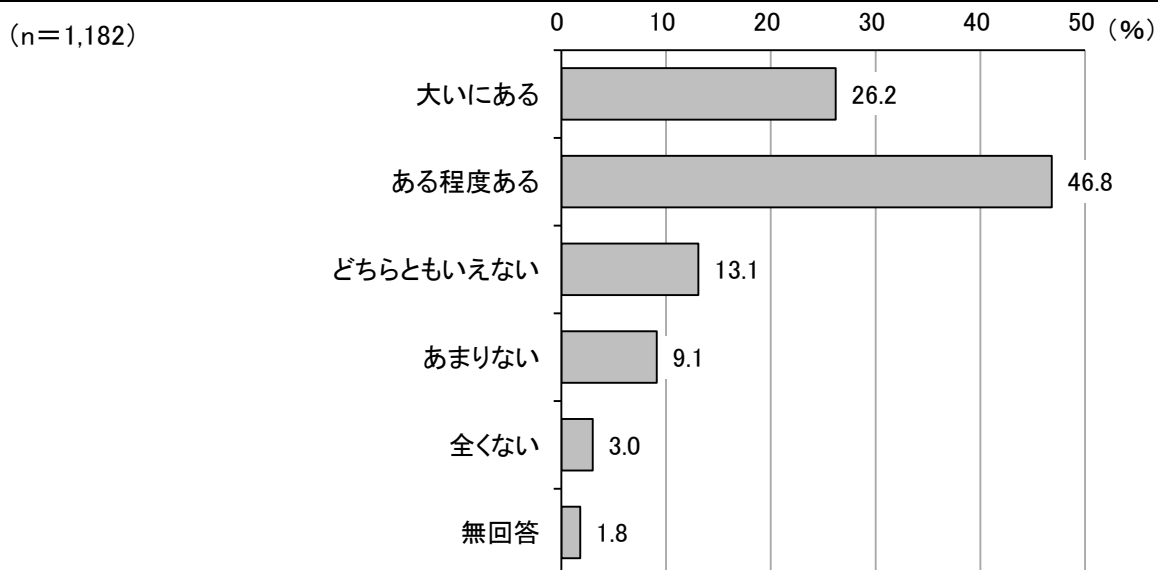
■ 地区別

地区別にみると、全体と同様の傾向ですが、山田地区では「小学校区」が28.5%と、佐原地区では「香取市全地域」が19.4%で、他の地区に比べて高くなっています。

単位 (%)		サンプル数 (人)	隣近所	町内会	小学校区	中学校区	香取市全地域	その他	無回答
地区別	佐原地区	581	23.2	35.5	12.0	4.3	19.4	1.7	3.8
	小見川地区	370	27.8	34.3	12.4	6.5	12.4	1.4	5.1
	山田地区	123	26.0	29.3	28.5	4.9	8.9	1.6	0.8
	栗源地区	62	29.0	29.0	11.3	8.1	11.3	4.8	6.5

問4 あなたは、今住んでいる地域に愛着がありますか。(1つに○)

今住んでいる地域に愛着があるかについては、「ある程度ある」が46.8%で最も高く、次いで「大いにある」が26.2%、「どちらともいえない」が13.1%となっています。



■地区別

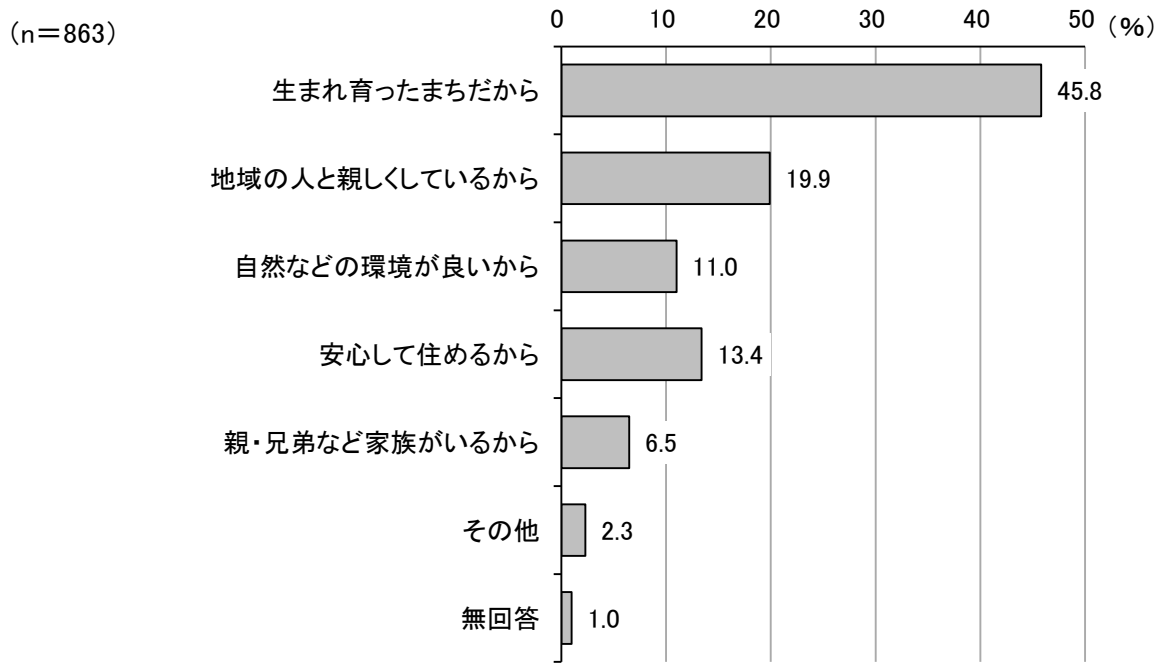
地区別にみると、全体と同様の傾向ですが、山田地区と栗源地区では「大いにある」と「ある程度ある」を合わせた“愛着がある”が約8割となり、他の地区に比べてわずかに高くなっています。

単位 (%)		サンプル数 (人)	大いにある	ある程度ある	どちらともいえない	あまりない	全くない	無回答
地区別	佐原地区	581	27.7	44.1	14.5	8.8	3.6	1.4
	小見川地区	370	25.1	47.6	10.8	11.4	3.2	1.9
	山田地区	123	26.8	52.8	13.0	6.5	0.0	0.8
	栗源地区	62	21.0	59.7	11.3	4.8	3.2	0.0

問4で「1」、「2」(愛着がある)を選んだ方にお聞きします。

問5 愛着があると感じるのはなぜですか。(1つに○)

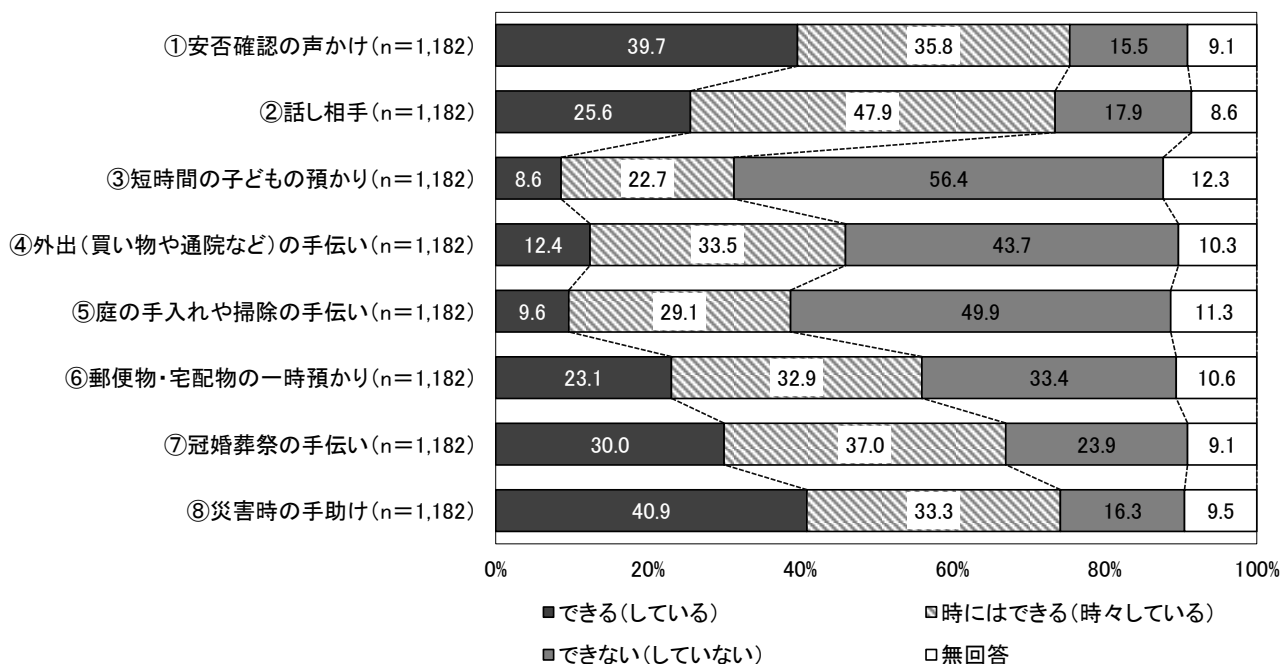
愛着があると感じるのはなぜかについては、「生まれ育ったまちだから」が45.8%で最も高く、次いで「地域の人と親しくしているから」が19.9%、「安心して住めるから」が13.4%となっています。



問6 あなたは、近所の人から頼まれた場合、どのようなことができますか(もしくは既にしていますか)。(それぞれ1つに〇)

近所の人から頼まれた場合にできること(既にしていること)について、「できる(している)」と「時にはできる(時々している)」を合わせた“できる”でみると、〈①安否確認の声かけ〉が75.5%で最も高く、次いで〈⑧災害時の手助け〉が74.2%、〈②話し相手〉が73.5%となっています。

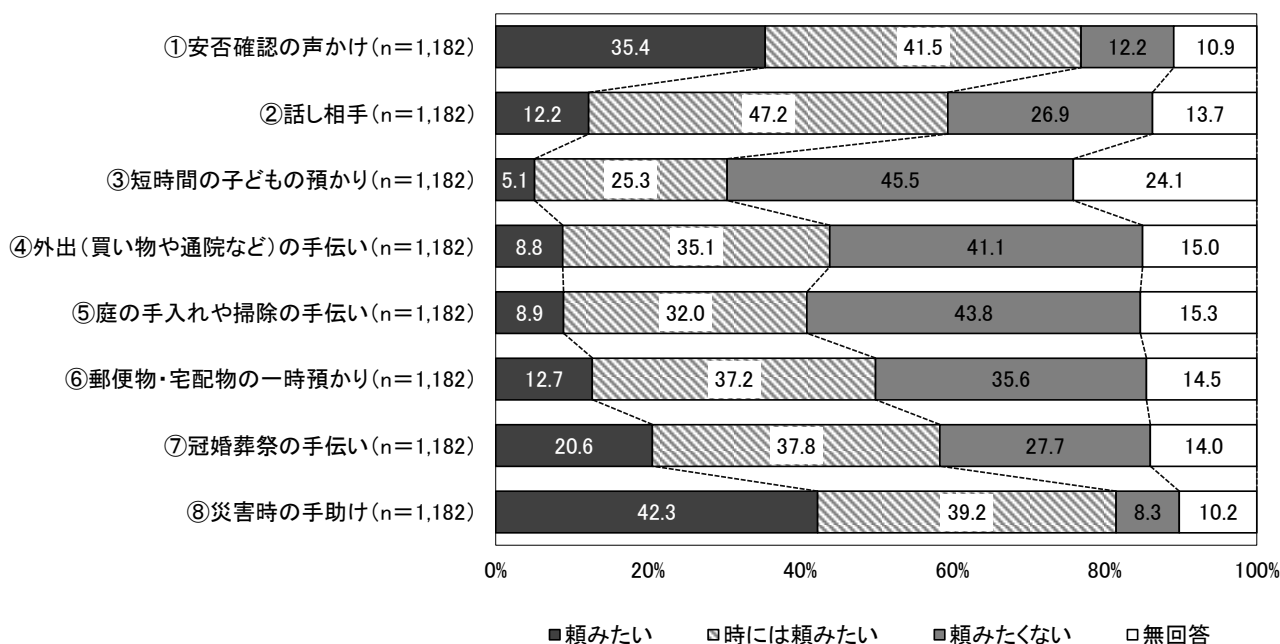
また「できない(していない)」では、〈③短時間の子ども預かり〉が56.4%、〈⑤庭の手入れや掃除の手伝い〉が49.9%と、他の項目に比べて高くなっています。



問7 あなたは、手助けが必要になった時、近所の人にどのようなことを頼みたいと思いますか。
(それぞれ1つに○)

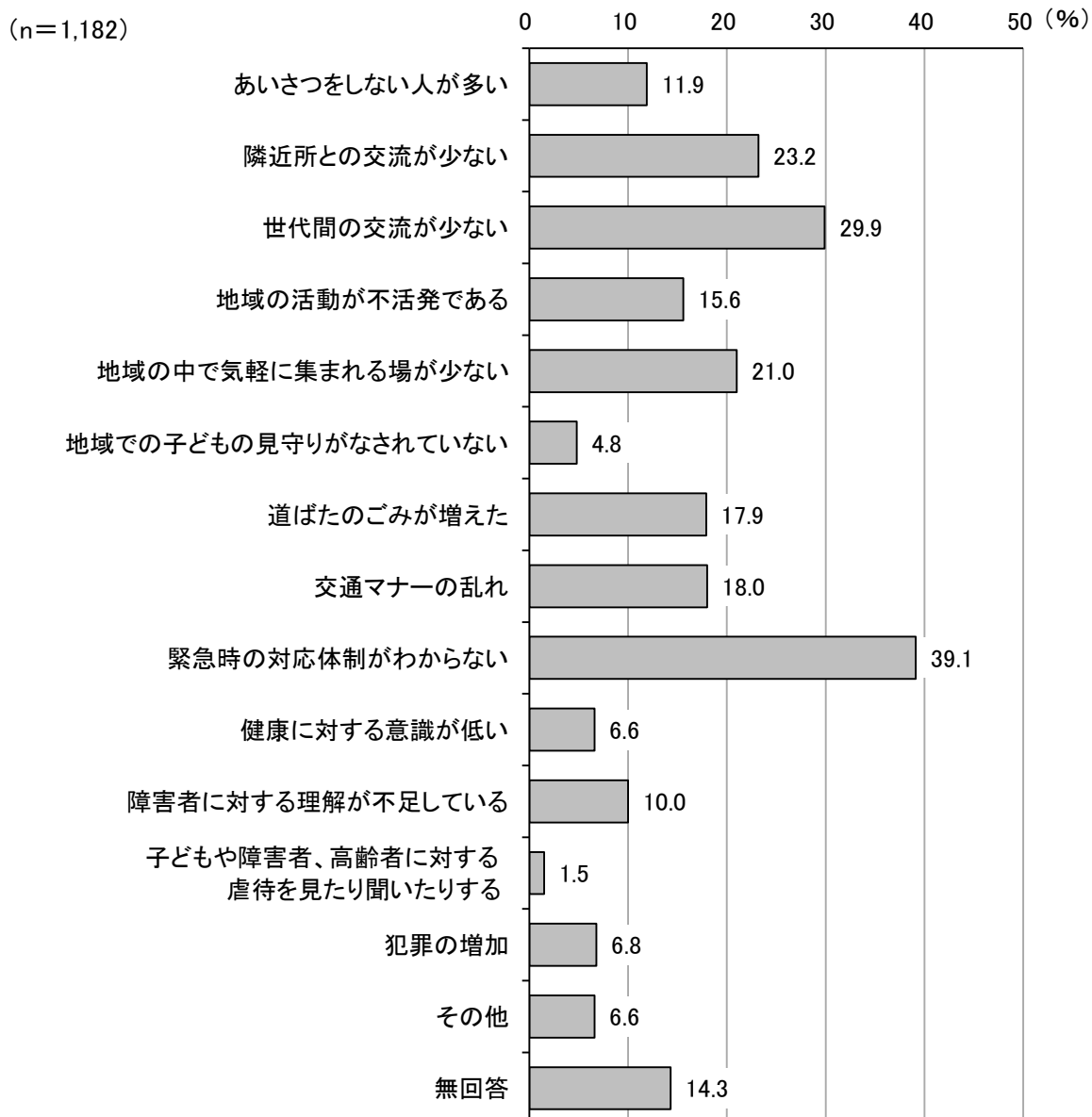
手助けが必要になった時、近所の人に頼みたいことについて、「頼みたい」と「時には頼みたい」を合わせた“頼みたい”でみると、〈⑧災害時の手助け〉が81.5%で最も高く、次いで〈①安否確認の声かけ〉が76.9%、〈②話し相手〉が59.4%となっています。

また「頼みたくない」では、〈③短時間の子ども預かり〉が45.5%、〈⑤庭の手入れや掃除の手伝い〉が43.8%、〈④外出（買い物や通院など）の手伝い〉が41.1%と、他の項目に比べて高くなっています。



問8 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものについては、「緊急時の対応体制がわからない」が39.1%で最も高く、次いで「世代間の交流が少ない」が29.9%、「隣近所との交流が少ない」が23.2%となっています。



■性別・年代別・地区別

性別にみると、女性で「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」が24.2%、「緊急時の対応体制がわからない」が42.0%と、男性に比べて高くなっています。

年代別にみると、70・80歳代では「あいさつをしない人が多い」が16.2%、60歳代以上では「隣近所との交流が少ない」が2割台半ばから後半と、わずかに高くなっています。

地区別にみると、佐原地区では「隣近所との交流が少ない」が26.7%、栗源地区では「世代間の交流が少ない」と「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」が、わずかに高くなっています。

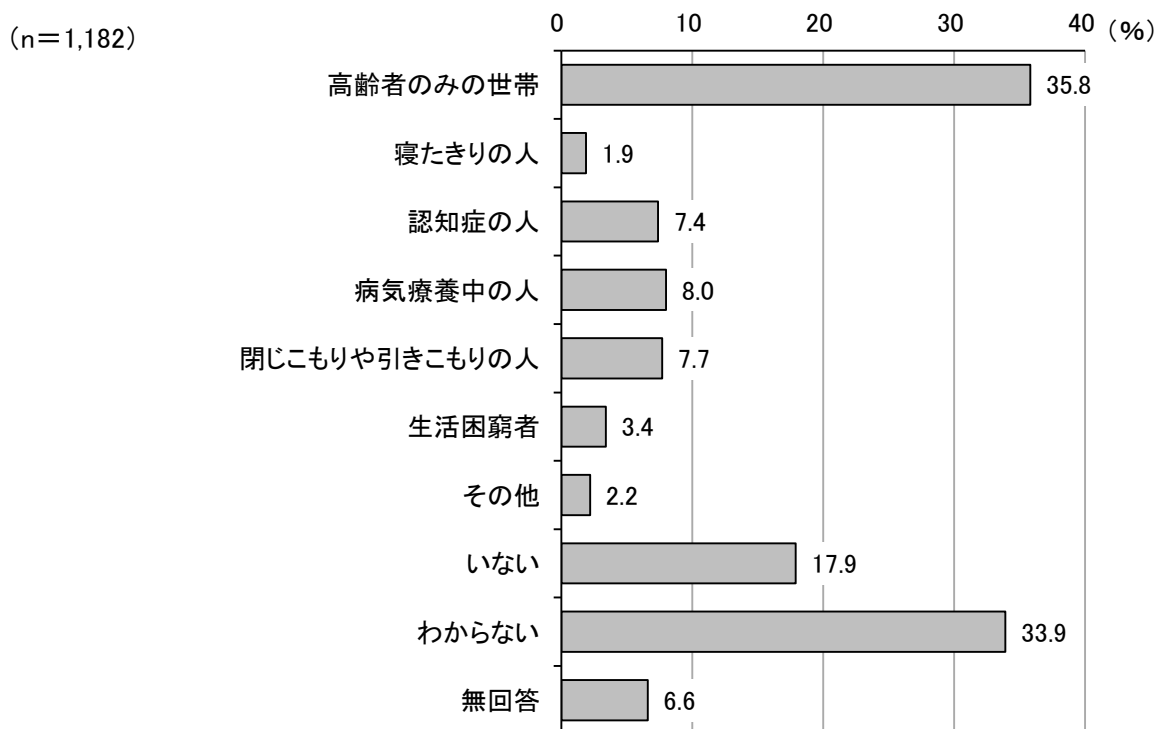
単位(%)		サンプル数(人)	が多い	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が不活発である	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	地域での子どもが見守りがなされていな	道ばたのごみが増え	交通マナーの乱れ
性別	男性	495	14.1	22.0	30.9	16.6	16.4	5.5	20.2	21.4
	女性	640	10.3	23.8	29.1	15.0	24.2	4.1	15.5	15.5
年代別	10・20歳代	84	9.5	16.7	25.0	8.3	20.2	2.4	19.0	17.9
	30歳代	104	8.7	17.3	23.1	14.4	21.2	6.7	18.3	17.3
	40歳代	159	10.7	18.9	30.2	12.6	21.4	6.3	13.8	20.8
	50歳代	215	11.6	22.3	31.6	18.1	21.9	7.0	18.6	25.1
	60歳代	332	11.4	25.0	30.4	16.6	16.6	2.4	18.1	17.2
	70・80歳代	247	16.2	27.9	32.0	17.0	25.1	5.3	17.8	11.7
地区別	佐原地区	581	12.4	26.7	30.5	16.0	22.0	5.9	16.2	19.1
	小見川地区	370	11.6	21.9	27.8	16.8	18.9	3.8	14.3	18.9
	山田地区	123	10.6	12.2	29.3	11.4	18.7	4.9	29.3	12.2
	栗源地区	62	14.5	17.7	35.5	14.5	25.8	1.6	21.0	11.3

単位(%)		サンプル数(人)	緊急時の対応体制がわからない	低い健康に対する意識が	障害者に対する理解が不足している	子どもや障害者、高齢者に対する虐待、見たり聞いたりする	犯罪の増加	その他	無回答
性別	男性	495	34.3	7.1	10.7	1.0	7.1	7.5	15.6
	女性	640	42.0	6.6	8.9	1.9	6.7	6.3	13.3
年代別	10・20歳代	84	40.5	6.0	10.7	1.2	7.1	10.7	11.9
	30歳代	104	37.5	5.8	8.7	1.9	9.6	10.6	12.5
	40歳代	159	46.5	6.3	11.3	0.6	8.2	10.1	15.1
	50歳代	215	44.7	8.4	13.5	2.8	7.9	6.5	12.6
	60歳代	332	36.1	6.6	10.2	0.9	5.1	4.8	14.8
	70・80歳代	247	31.6	6.5	4.5	2.0	6.1	4.5	15.8
地区別	佐原地区	581	41.1	7.2	10.8	1.9	5.9	6.7	12.9
	小見川地区	370	37.3	5.7	8.6	1.6	5.9	7.3	15.9
	山田地区	123	35.0	8.1	8.9	0.0	12.2	4.1	17.1
	栗源地区	62	29.0	6.5	4.8	0.0	8.1	8.1	9.7

問9 あなたの近所には、次のような、見守り等支援が必要な人や、気にかかる人(何らかの課題を抱えている人)がいますか。(あてはまるものすべてに○)

※生活困窮者とは、多重債務者、ホームレス、ニート等、様々な課題により経済的に支援が必要な人を含みます。

近所には、見守り等支援が必要な人や、気にかかる人(何らかの課題を抱えている人)がいるかについては、「わからない」が33.9%、「いない」が17.9%と多くなっていますが、「高齢者のみの世帯」が35.8%の他、数は少なくなっていますがいる状況です。



■性別・地区別

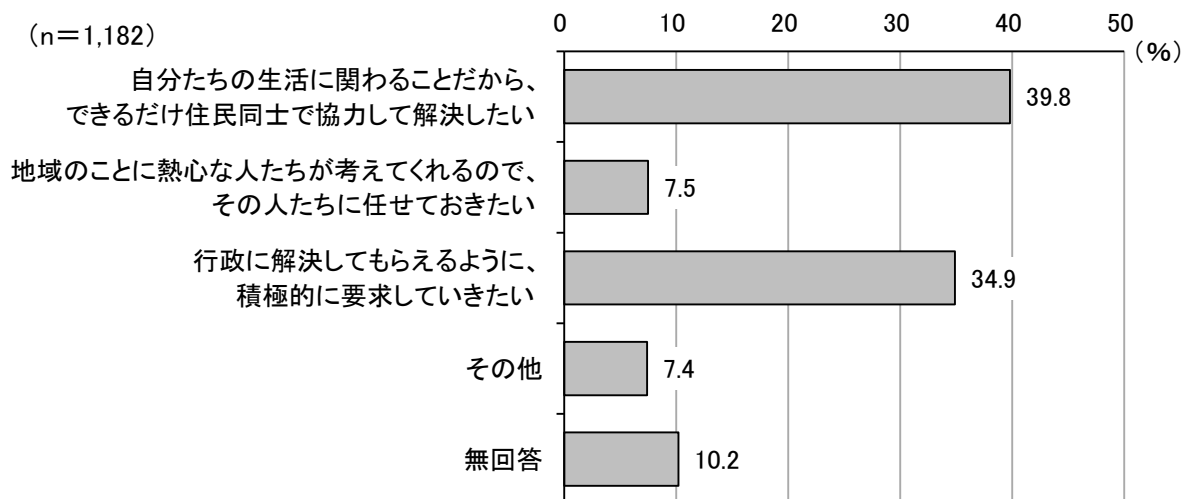
性別にみると、男性では「高齢者のみの世帯」が42.2%で最も高く、女性では「わからない」が39.5%で最も高くなっています。

地区別にみると、小見川地区と山田地区では「高齢者のみの世帯」が3割台半ばから4割台前半と最も高く、中でも山田地区では41.5%と、他の地区に比べて高くなっています。佐原地区と栗源地区では「わからない」が3割台半ばと最も高くなっています。また、栗源地区では「生活困窮者」が11.3%と、他の地区に比べて高くなっています。

単位(%)		サンプル数(人)	高齢者のみの世帯	寝たきりの人	認知症の人	病気療養中の人	閉じこもりや引きこもりの人	生活困窮者	その他	いない	わからない	無回答
性別	男性	495	42.2	2.6	8.1	10.9	8.5	4.4	1.8	17.0	28.1	5.7
	女性	640	30.8	1.4	7.3	5.3	6.7	2.7	2.3	18.8	39.5	6.7
地区別	佐原地区	581	36.3	1.5	9.3	8.1	7.7	2.4	2.1	15.0	37.0	5.3
	小見川地区	370	34.6	2.2	5.1	7.0	6.2	3.2	1.6	21.9	32.7	6.8
	山田地区	123	41.5	3.3	5.7	8.1	8.9	4.9	3.3	22.0	26.8	6.5
	栗源地区	62	27.4	1.6	8.1	4.8	8.1	11.3	3.2	17.7	35.5	12.9

問 10 地域の中で起きている身近な課題(例:児童生徒の安全・安心や、孤独死など)に対して、あなたはどのような方法で解決するのが良いと思いますか。(1つに〇)

地域の中で起きている身近な課題(例:児童生徒の安全・安心や、孤独死など)に対して、どのような方法で解決するのが良いと思うかについては、「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」が39.8%で最も高く、次いで「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」が34.9%、「地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい」が7.5%となっています。



■年代別

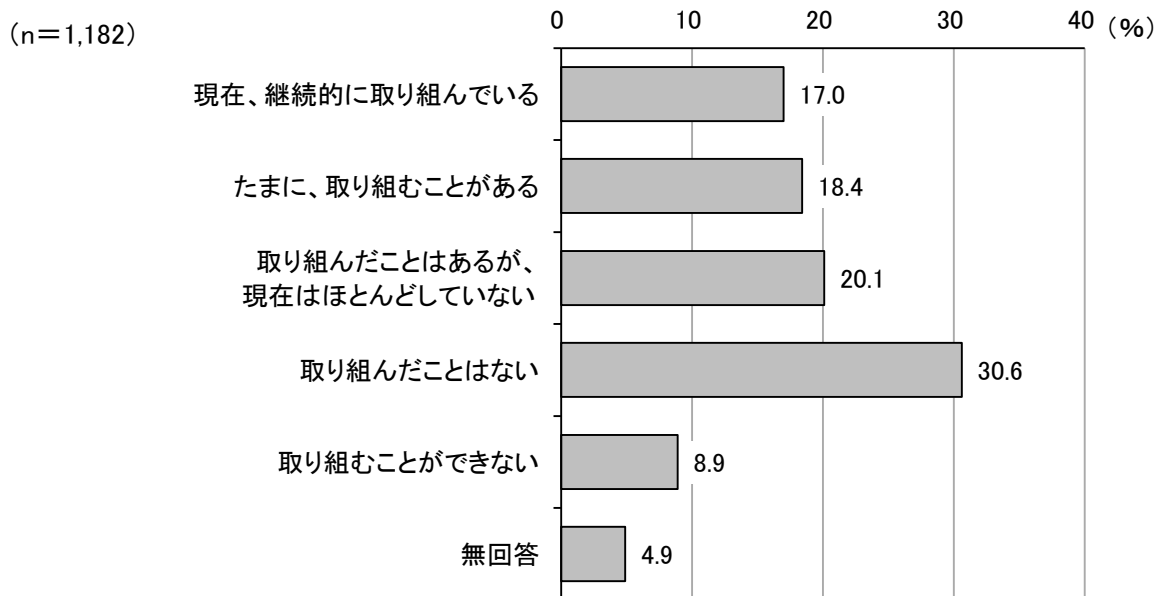
年代別にみると、10・20歳代と60歳代以上では「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」が4割台前半から半ばと最も高く、それ以外の年代では「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」が3割台後半から4割と最も高くなっています。

単位 (%)		サンプル数 (人)	自分たちの生活に関わるわ	地域のことに熱心な人	行政に解決してもらえ	その他	無回答
年代別	10・20歳代	84	42.9	16.7	28.6	3.6	8.3
	30歳代	104	37.5	5.8	38.5	10.6	7.7
	40歳代	159	34.0	9.4	39.0	10.7	6.9
	50歳代	215	33.5	7.9	40.0	8.4	10.2
	60歳代	332	42.2	6.0	36.1	6.6	9.0
	70・80歳代	247	46.6	6.1	27.5	5.3	14.6

3. 地域活動やボランティア活動について

問 11 あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取り組んでいますか。(1つに○)

地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等に取り組んでいるかについては、「取り組んだことはない」が30.6%で最も高く、次いで「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」が20.1%、「たまに、取り組むことがある」が18.4%となっています。



■性別・年代別

性別にみると、男性では「現在、継続的に取り組んでいる」が25.5%と最も高く、女性では「取り組んだことはない」が36.1%と最も高くなっています。

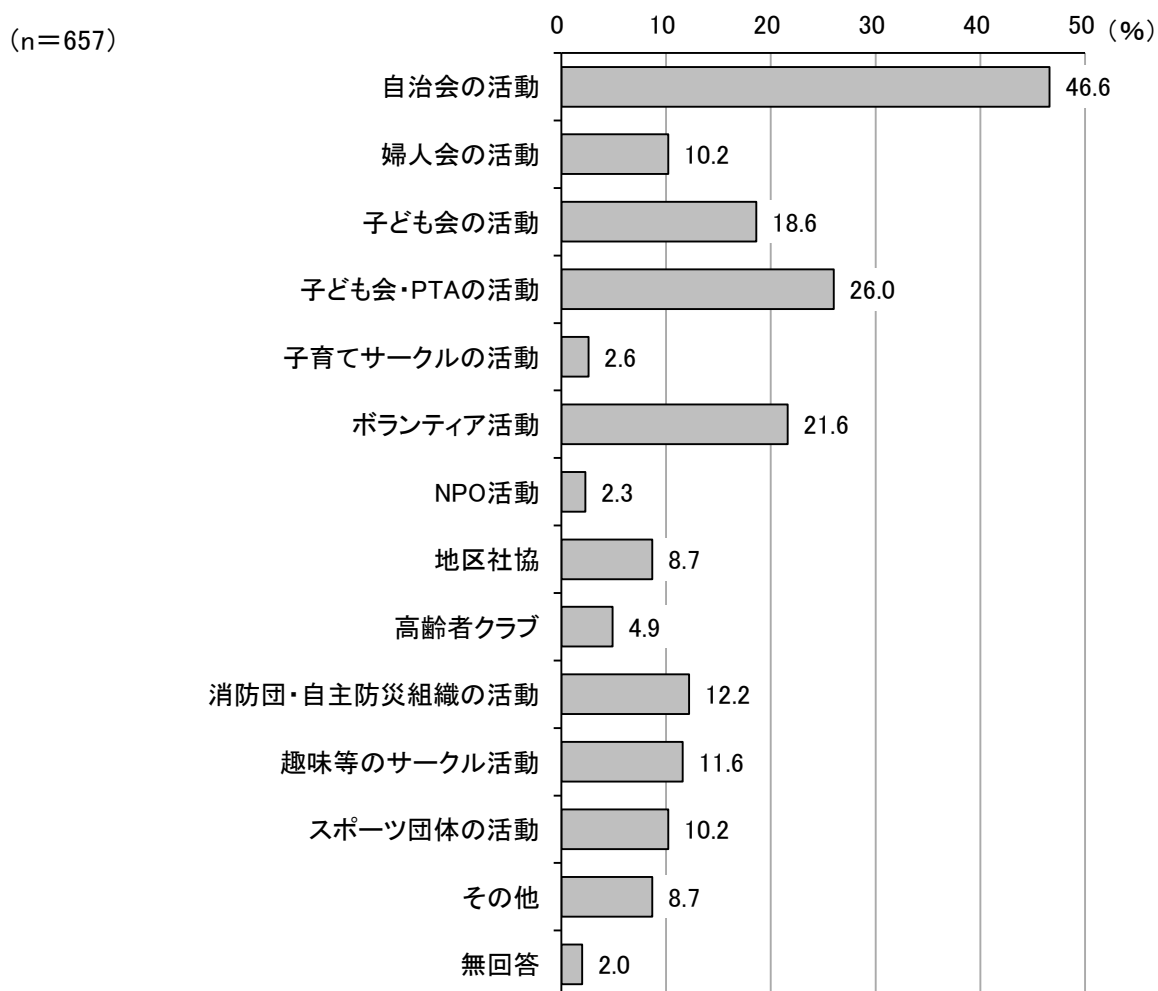
年代別にみると、50歳代では「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」が27.9%で最も高く、それ以外の年代では「取り組んだことはない」が2割台後半から5割台前半で最も高く、中でも30歳代では51.0%となっています。

単位(%)		サ ン プ ル 数 (人)	り 現 在 、 継 続 的 に 取 組 む	こ と が あ る 、 取 組 む	と あ る ど し 、 現 在 は と ほ	取 り 組 ん だ こ と は な い	取 り 組 む こ と が で き な い	無 回 答
性別	男性	495	25.5	20.8	18.2	24.0	7.9	3.6
	女性	640	10.5	16.3	22.5	36.1	9.8	4.8
年代別	10・20歳代	84	6.0	17.9	32.1	34.5	6.0	3.6
	30歳代	104	17.3	8.7	7.7	51.0	10.6	4.8
	40歳代	159	19.5	20.1	13.2	32.1	10.7	4.4
	50歳代	215	12.1	25.6	27.9	22.8	7.9	3.7
	60歳代	332	20.8	17.8	19.3	29.2	9.9	3.0
	70・80歳代	247	18.6	15.4	21.5	30.4	7.7	6.5

問 11 で「1」、「2」、「3」(現在または過去に取り組んでいる)を選んだ方にお聞きします。

問 12 どんな活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

どんな活動をしているかについては、「自治会の活動」が 46.6%で最も高く、次いで「子ども会・PTA の活動」が 26.0%、「ボランティア活動」が 21.6%となっています。



■性別・年代別

性別にみると、男性では「自治会の活動」「消防団・自主防災組織の活動」が女性に比べて高くなっています。また、女性では「婦人会の活動」「子ども会の活動」「子ども会・PTAの活動」「ボランティア活動」が男性に比べて高くなっています。

年代別にみると、10・20歳代では「スポーツ団体の活動」が25.5%で、40歳代では「子ども会・PTAの活動」が61.9%で最も高くなっています。また30歳代、70・80歳代では「ボランティア活動」で3割台前半と、他の年代に比べて高くなっています。

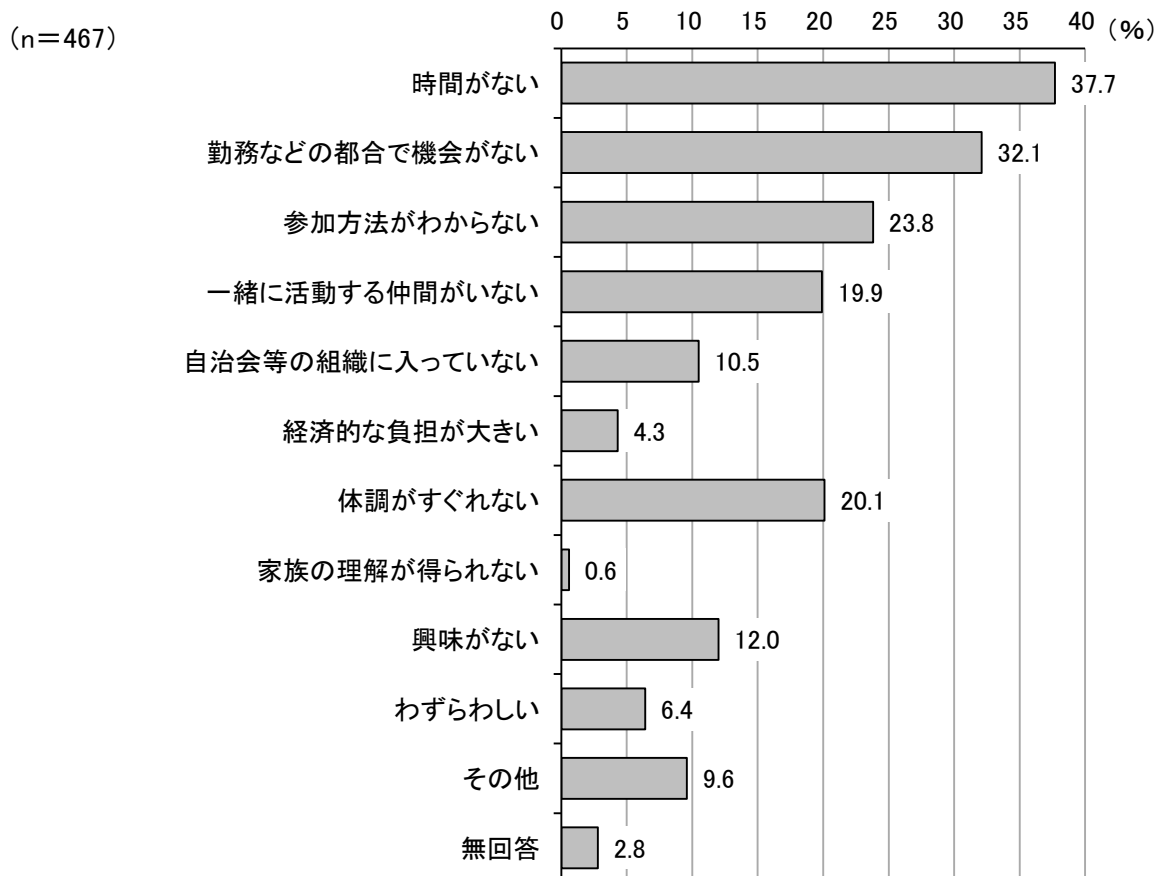
単位(%)		(サンプル数)	自治会の活動	婦人会の活動	子ども会の活動	子ども会・PTAの活動	子育てサークルの活動	ボランティア活動	NPO活動
性別	男性	319	59.6	2.2	12.2	15.4	0.3	18.2	3.8
	女性	315	32.4	18.7	25.7	37.1	4.8	25.1	1.0
年代別	10・20歳代	47	19.1	2.1	23.4	2.1	4.3	21.3	6.4
	30歳代	35	34.3	0.0	17.1	20.0	2.9	31.4	5.7
	40歳代	84	44.0	9.5	28.6	61.9	3.6	3.6	1.2
	50歳代	141	53.9	15.6	34.8	46.1	4.3	19.1	0.7
	60歳代	192	54.7	12.0	8.3	13.5	1.6	21.9	1.6
	70・80歳代	137	40.1	8.8	10.2	10.9	0.7	32.8	3.6

単位(%)		(サンプル数)	地区社協	高齢者クラブ	消防団・自主防災組織の活動	趣味等のサークル活動	スポーツ団体の活動	その他	無回答
性別	男性	319	10.0	5.0	20.1	9.1	11.3	8.2	2.2
	女性	315	6.7	4.4	3.5	14.3	8.9	8.9	1.6
年代別	10・20歳代	47	8.5	0.0	8.5	2.1	25.5	10.6	2.1
	30歳代	35	0.0	0.0	31.4	5.7	2.9	11.4	0.0
	40歳代	84	2.4	0.0	13.1	4.8	13.1	6.0	0.0
	50歳代	141	4.3	0.7	16.3	9.9	9.2	8.5	1.4
	60歳代	192	14.6	4.7	9.9	15.1	8.3	9.4	1.0
	70・80歳代	137	9.5	14.6	5.1	17.5	8.0	7.3	4.4

問 11 で「4」、「5」(取り組んでいない)を選んだ方にお聞きます。

問 13 現在活動していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

現在活動していない理由については、「時間がない」が 37.7%で最も高く、次いで「勤務などの都合で機会がない」が 32.1%、「参加方法がわからない」が 23.8%となっています。



■年代別

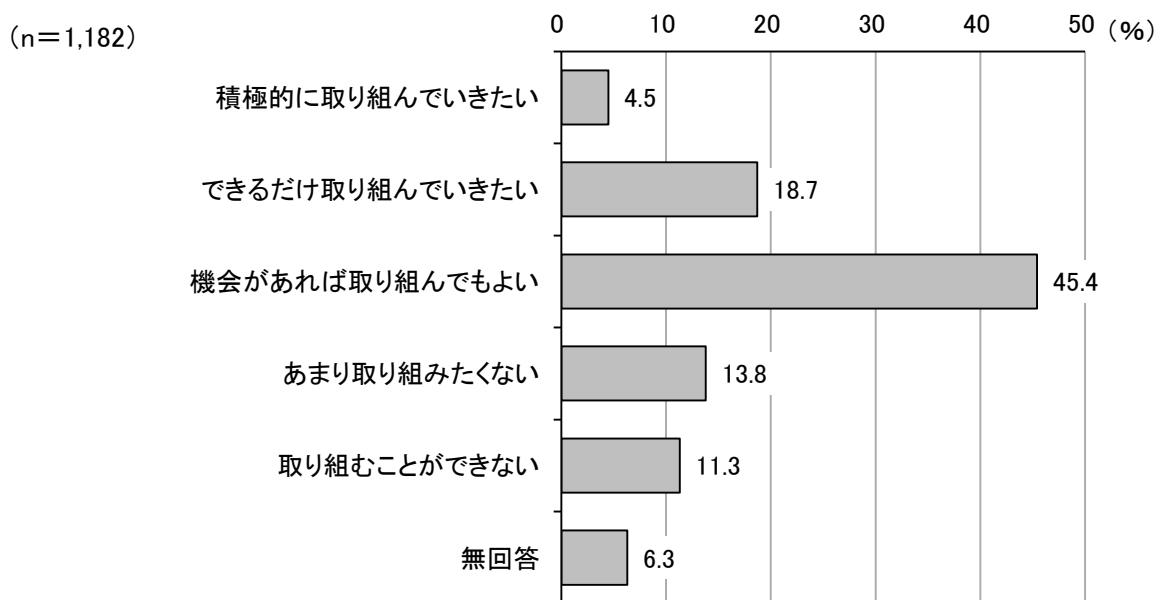
年代別にみると、10歳代から50歳代では「時間がない」が4割台後半から5割台前半と高くなっています。また、10・20歳代、40歳代、50歳代では「勤務などの都合で機会がない」も4割台後半から5割台前半と高くなっています。一方50歳代以上では「体調がすぐれない」が1割台後半から3割台半ばと高くなっています。

単位(%)		サンプル数(人)	時間がない	勤務などの都合で機会がない	参加方法がわからない	一緒に活動する仲間がない	自治会等の組織に入っていない	経済的な負担が大きい
年代別	10・20歳代	34	52.9	50.0	32.4	32.4	8.8	2.9
	30歳代	64	48.4	32.8	29.7	21.9	18.8	1.6
	40歳代	68	48.5	47.1	23.5	17.6	13.2	5.9
	50歳代	66	50.0	51.5	31.8	24.2	13.6	9.1
	60歳代	130	33.8	24.6	18.5	18.5	6.9	3.8
	70・80歳代	94	14.9	11.7	16.0	14.9	6.4	3.2

単位(%)		サンプル数(人)	体調がすぐれない	家族の理解が得られない	興味がない	わずらわしい	その他	無回答
年代別	10・20歳代	34	5.9	0.0	8.8	5.9	5.9	0.0
	30歳代	64	10.9	0.0	18.8	6.3	9.4	1.6
	40歳代	68	10.3	1.5	14.7	10.3	8.8	2.9
	50歳代	66	19.7	0.0	9.1	12.1	7.6	1.5
	60歳代	130	23.8	1.5	12.3	5.4	10.8	4.6
	70・80歳代	94	35.1	0.0	8.5	2.1	12.8	3.2

問 14 あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(1つに○)

今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等に、どの程度取り組んでいきたいと考えているかについては、「機会があれば取り組んでもよい」が45.4%で最も高く、次いで「できるだけ取り組んでいきたい」が18.7%、「あまり取り組みたくない」が13.8%となっています。



■性別・年代別

性別にみると、男性では「できるだけ取り組んでいきたい」が25.7%と、女性に比べて高くなっています。また、女性では「機会があれば取り組んでもよい」が51.4%と、男性に比べて高くなっています。

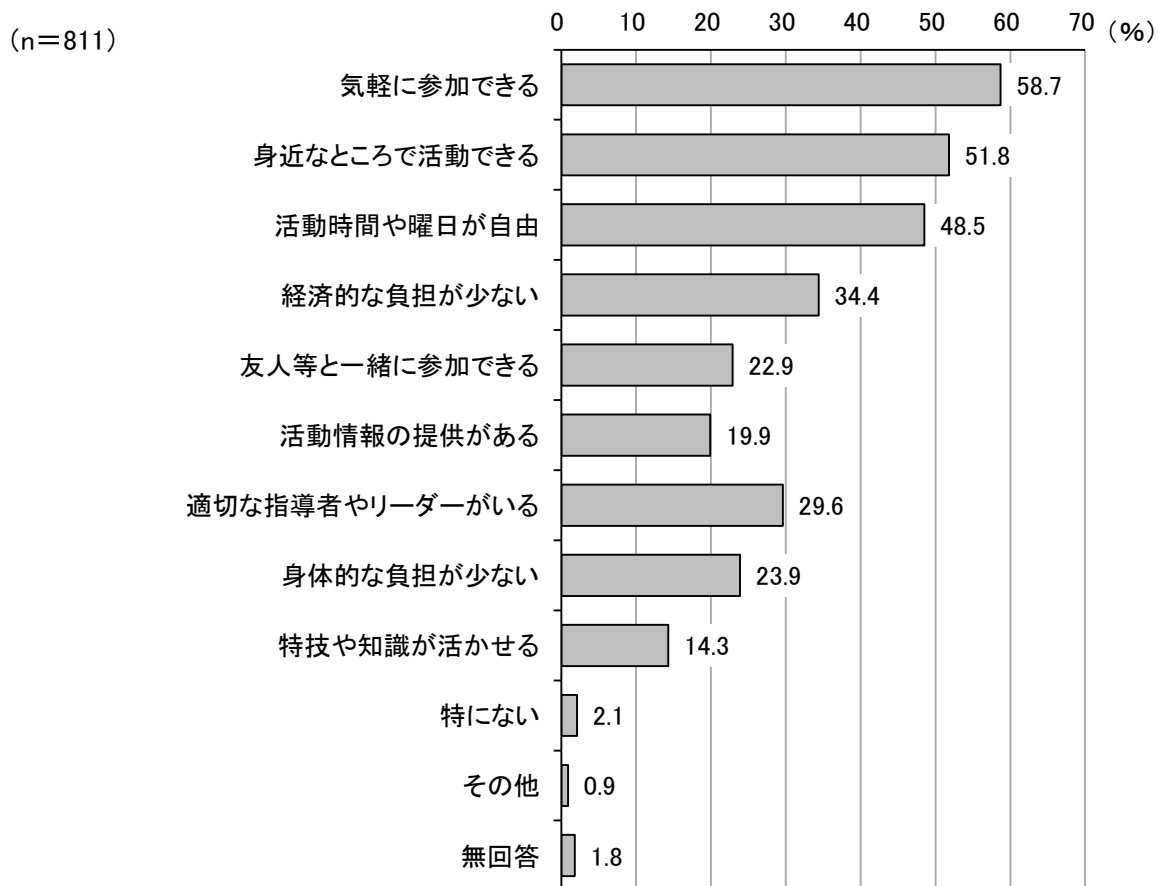
年代別にみると、いずれの年代も、「積極的に取り組んでいきたい」と「できるだけ取り組んでいきたい」を合わせた“取り組んでいきたい”が2割台前半から後半となっています。

単位(%)		サンプル数 (人)	積極的に 取り組ん で	できる だけ 取り組 んで	機会 があ れば 取り 組ん で	く あ ま り 取 り 組 み た く ら い	き な い 取 り 組 む こ と が で き な い	無 回 答
性別	男性	495	5.9	25.7	38.6	16.4	7.9	5.7
	女性	640	3.4	13.1	51.4	12.5	13.6	5.9
年代別	10・20歳代	84	3.6	16.7	57.1	14.3	4.8	3.6
	30歳代	104	2.9	18.3	45.2	18.3	8.7	6.7
	40歳代	159	4.4	22.6	45.3	13.8	8.2	5.7
	50歳代	215	5.1	18.1	52.1	11.6	8.8	4.2
	60歳代	332	6.0	16.9	46.4	16.0	10.2	4.5
	70・80歳代	247	2.8	19.4	36.4	12.1	19.8	9.3

問 14 で「1」、「2」、「3」(取り組む意向がある)を選んだ方にお聞きします。

問 15 どのような条件であれば、活動・参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

活動・参加したいと思う条件については、「気軽に参加できる」が58.7%で最も高く、次いで「身近なところで活動できる」が51.8%、「活動時間や曜日が自由」が48.5%となっています。



■性別・年代別

性別にみると、女性では「身近なところで活動できる」「活動時間や曜日が自由」「友人等と一緒に参加できる」が男性に比べて高くなっています。

年代別にみると、10歳代から60歳代では「気軽に参加できる」が5割台半ばから6割台半ば、「経済的な負担が少ない」が3割台前半から4割台半ばと高くなっています。また、50歳代では「活動時間や曜日が自由」が61.1%、10・20歳代では「友人等と一緒に参加できる」が43.1%と他の年代に比べて高くなっています。

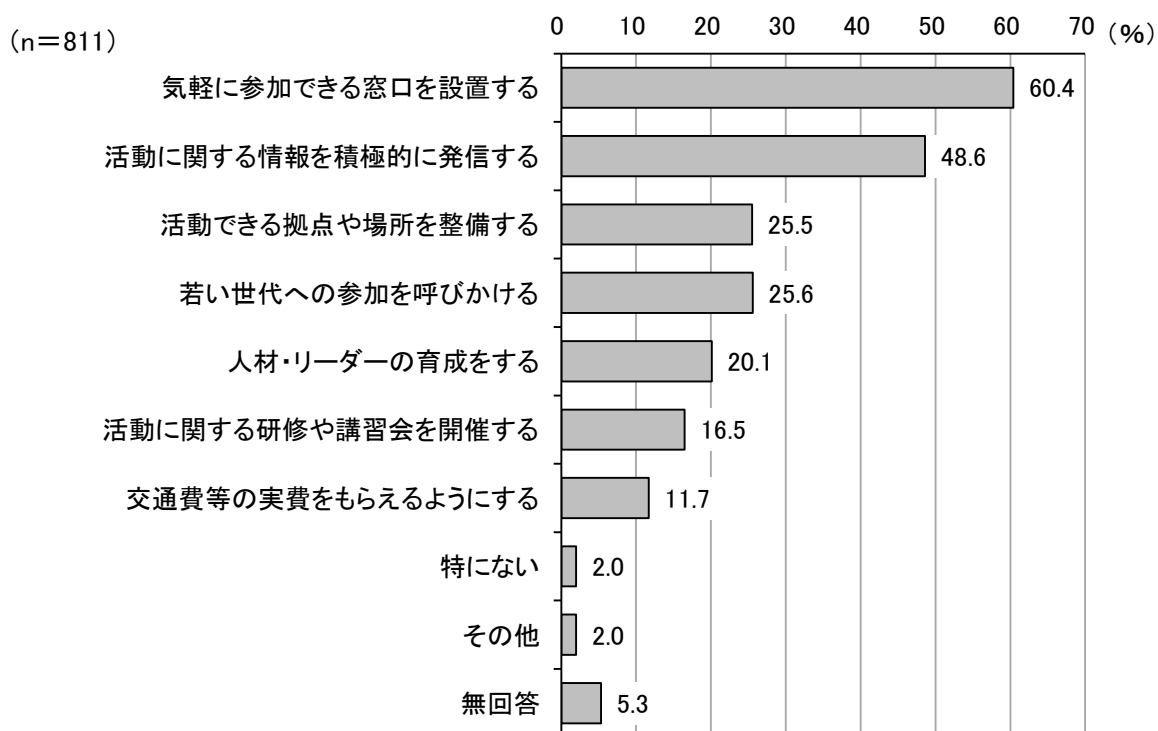
単位(%)		サンプル数(人)	気軽に参加できる	身近なところで活動できる	活動時間や曜日が自由	経済的な負担が少ない	友人等と一緒に参加できる	活動情報の提供がある
性別	男性	347	55.3	48.1	44.7	34.0	16.1	15.6
	女性	435	60.7	54.5	51.3	34.5	28.5	23.2
年代別	10・20歳代	65	66.2	49.2	52.3	40.0	43.1	18.5
	30歳代	69	55.1	43.5	49.3	36.2	27.5	23.2
	40歳代	115	60.9	54.8	53.9	40.0	24.3	24.3
	50歳代	162	64.2	48.8	61.1	45.1	19.1	24.7
	60歳代	230	57.0	57.4	48.7	31.7	19.6	19.1
	70・80歳代	145	49.7	49.0	26.2	17.9	20.7	10.3

単位(%)		サンプル数(人)	適切な指導者やリーダーがいない	身体的な負担が少ない	特技や知識が活かせる	特にない	その他	無回答
性別	男性	347	26.2	20.5	17.9	3.2	1.2	0.6
	女性	435	31.0	26.7	11.5	1.4	0.7	2.8
年代別	10・20歳代	65	21.5	10.8	23.1	1.5	0.0	0.0
	30歳代	69	29.0	21.7	11.6	5.8	0.0	2.9
	40歳代	115	30.4	20.0	9.6	2.6	0.9	2.6
	50歳代	162	32.1	26.5	15.4	0.6	0.6	1.9
	60歳代	230	29.6	25.2	17.0	1.3	0.9	1.3
	70・80歳代	145	25.5	29.0	9.7	3.4	2.1	2.1

問 14 で「1」、「2」、「3」(取り組む意向がある)を選んだ方にお聞きします。

問 16 あなたが、今後、地域活動やボランティア活動の輪を広げていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

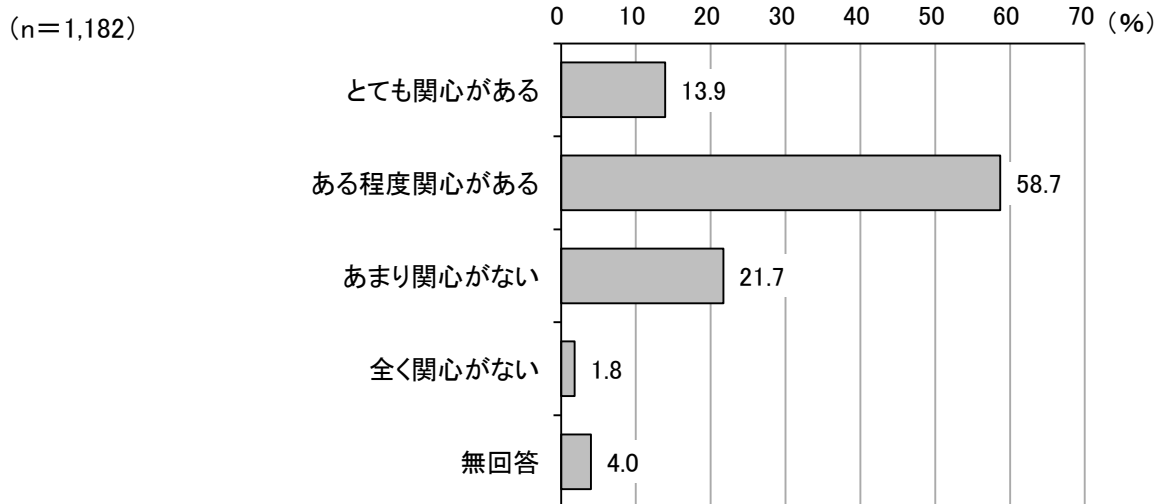
今後、地域活動やボランティア活動の輪を広げていくために必要だと思うことについては、「気軽に参加できる窓口を設置する」が60.4%で最も高く、次いで「活動に関する情報を積極的に発信する」が48.6%、「若い世代への参加を呼びかける」が25.6%となっています。



4. 福祉について

問 17 あなたは「福祉」に関心をおもちですか。(1つに○)

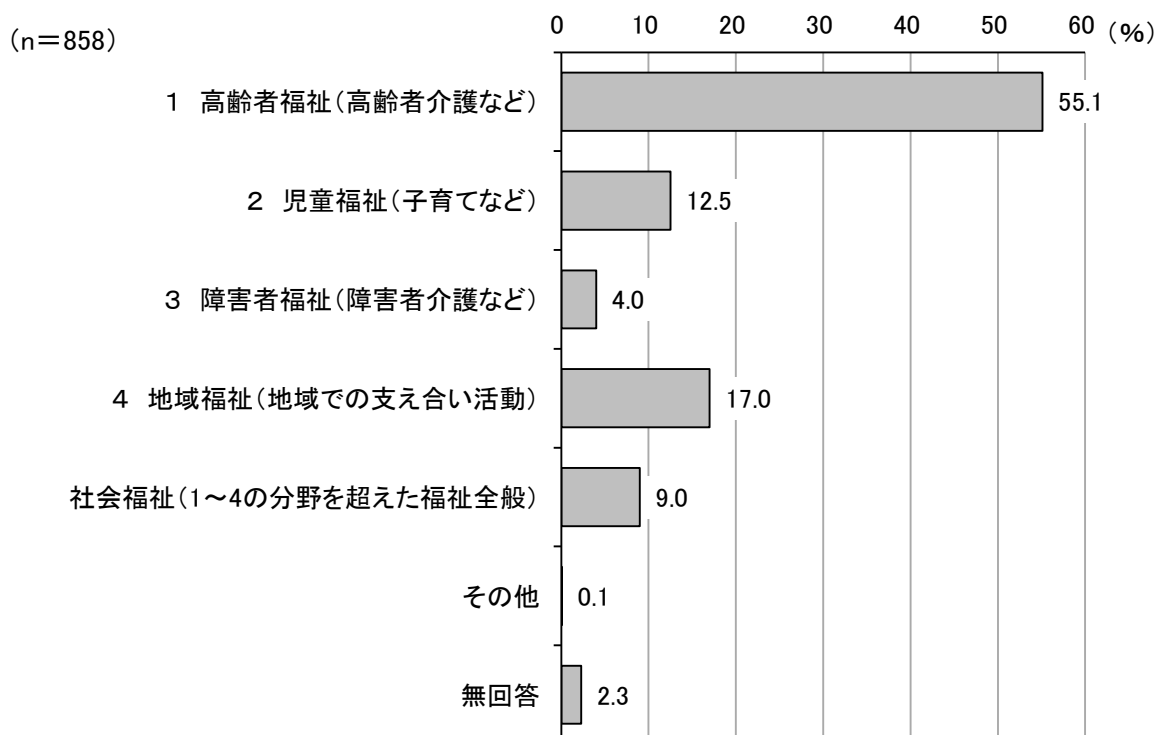
「福祉」に関心があるかについては、「ある程度関心がある」が 58.7%で最も高く、次いで「あまり関心がない」が 21.7%、「とても関心がある」が 13.9%となっています。



問 17 で「1」、「2」(福祉に関心がある)を選んだ方にお聞きます。

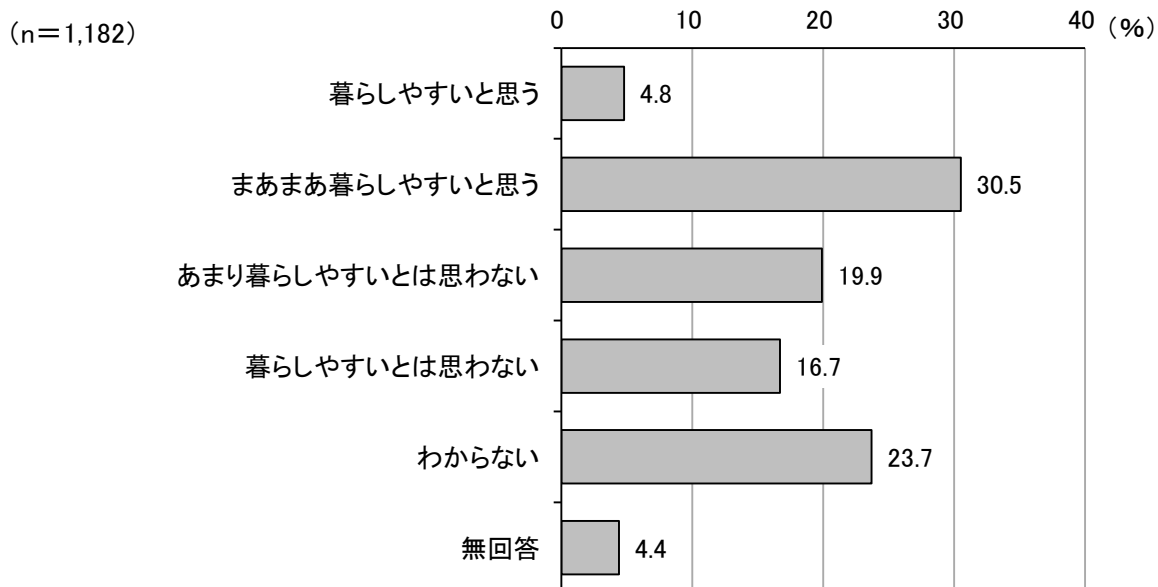
問 18 特にどの福祉の分野に関心をおもちですか。(1つに○)

特にどの福祉の分野に関心があるかについては、「高齢者福祉(高齢者介護など)」が 55.1%で最も高く、次いで「地域福祉(地域での支え合い活動)」が 17.0%、「児童福祉(子育てなど)」が 12.5%となっています。



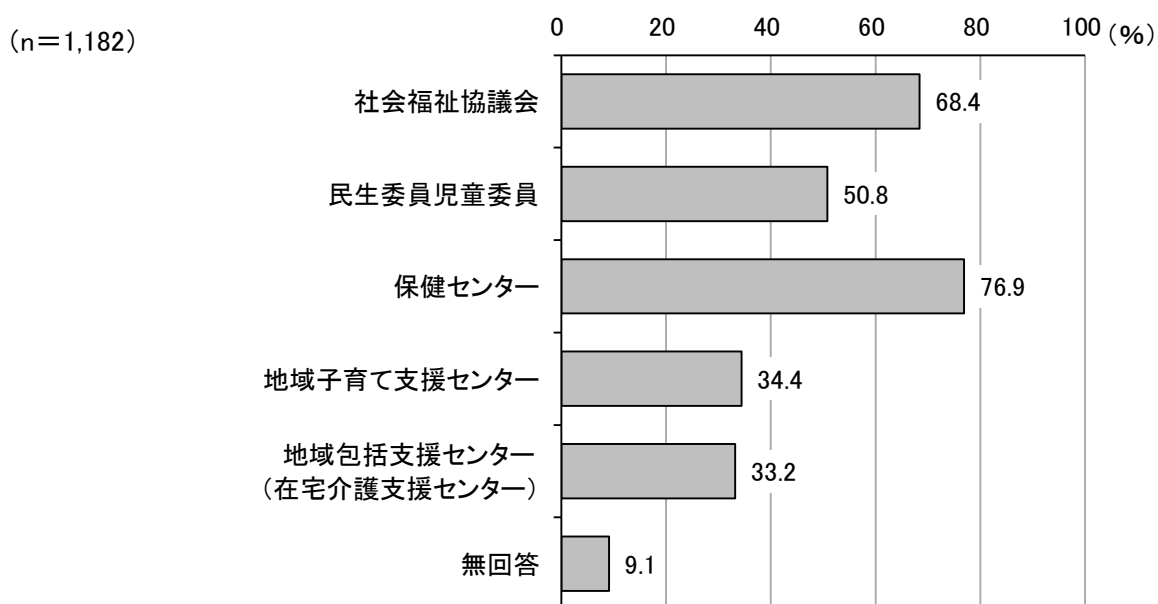
問 19 香取市は子どもや高齢者、障害のある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

香取市は子どもや高齢者、障害のある人などにとって暮らしやすいまちだと思うかについては、「まあまあ暮らしやすいと思う」が 30.5%で最も高く、次いで「わからない」が 23.7%、「あまり暮らしやすいとは思わない」が 19.9%となっています。



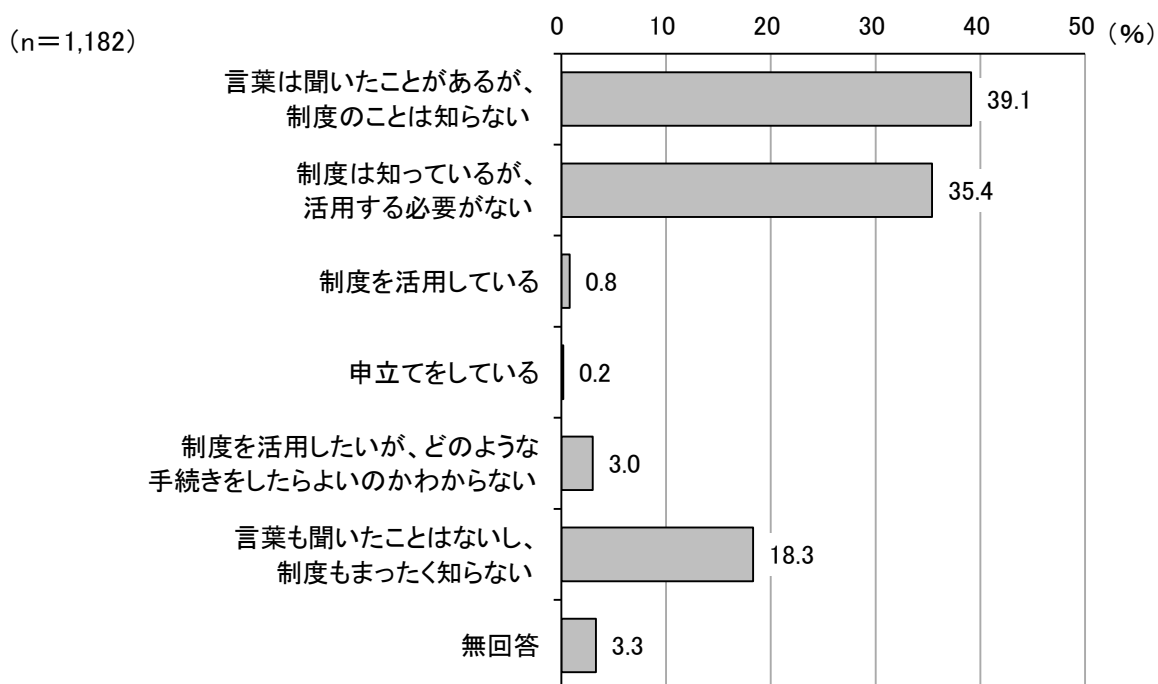
問 20 あなたは、次の団体や機関を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

知っている団体や機関については、「保健センター」が 76.9%で最も高く、次いで「社会福祉協議会」が 68.4%、「民生委員児童委員」が 50.8%となっています。



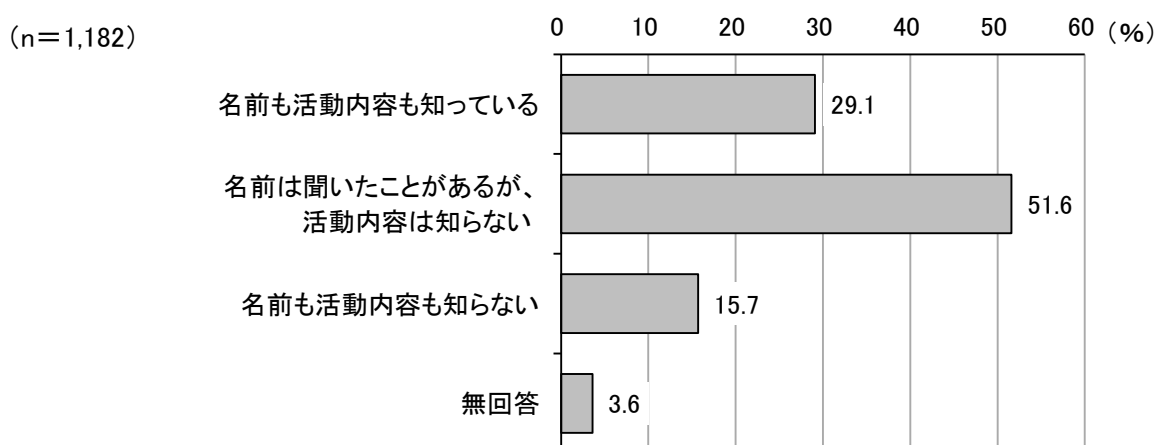
問 21 「成年後見制度」とは、本人が障害や認知症などで判断能力が十分でない場合、本人に代わって家庭裁判所が決める法定後見人が財産管理や介護サービス契約などを行うことができる制度ですが、あなたはこの制度について知っていますか。(1つに○)

「成年後見制度」を知っているかについては、「言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない」が 39.1%で最も高く、次いで「制度は知っているが、活用する必要がない」が 35.4%、「言葉も聞いたことはないし、制度もまったく知らない」が 18.3%となっています。



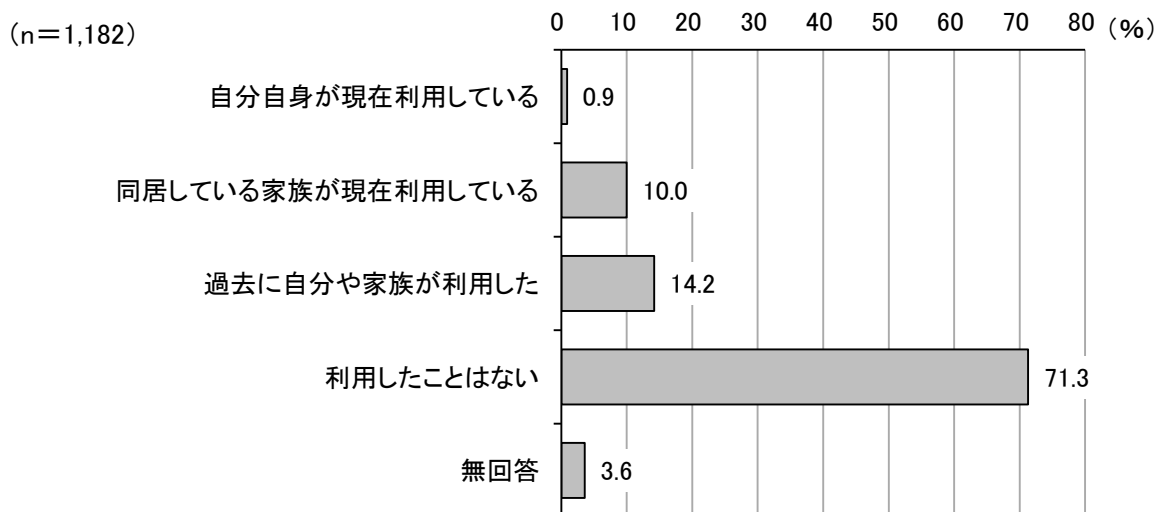
問 22 あなたは、地域の福祉推進を図るために諸活動を行っている社会福祉協議会という組織を知っていますか。(1つに○)

社会福祉協議会という組織を知っているかについては、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が 51.6%で最も高く、次いで「名前も活動内容も知っている」が 29.1%、「名前も活動内容も知らない」が 15.7%となっています。



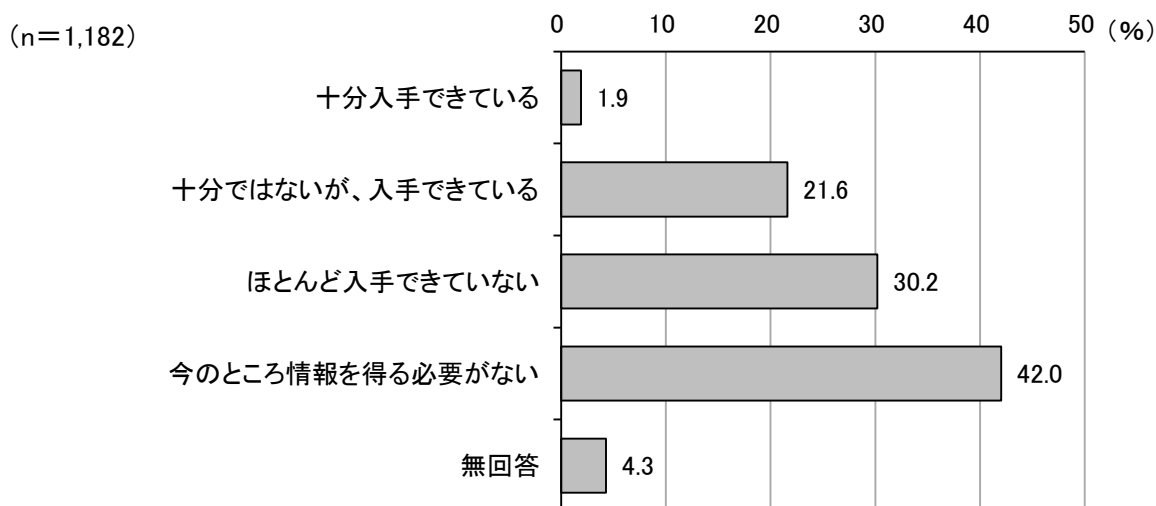
問 23 あなたは、福祉サービス(介護保険サービスや障害福祉サービスなど)を利用していますか。(1つに○)

福祉サービス(介護保険サービスや障害福祉サービスなど)を利用しているかについては、「利用したことはない」が71.3%で最も高く、次いで「過去に自分や家族が利用した」が14.2%、「同居している家族が現在利用している」が10.0%となっています。



問 24 あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているとお考えですか。(1つに○)

自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているかについては、「今のところ情報を得る必要がない」が 42.0%で最も高く、次いで「ほとんど入手できていない」が 30.2%、「十分ではないが、入手できている」が 21.6%となっています。



■年代別

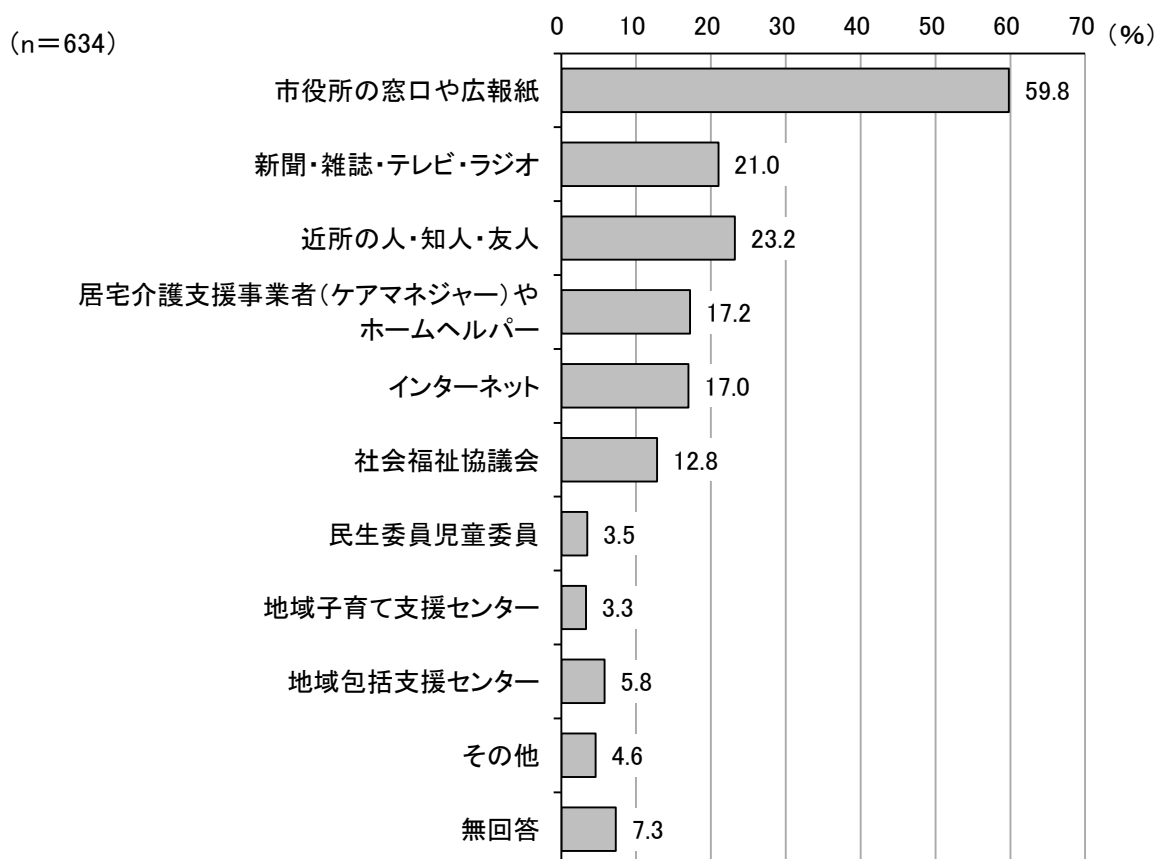
年代別にみると、全体と同様の傾向になっていますが、50歳代から80歳代では「十分ではないが、入手できている」が、2割台前半から2割台後半と、他の年代に比べて高くなっています。

単位 (%)		サンプル数 (人)	十分入手できている	十分ではないが、入手できている	ほとんど入手できていない	今のところ情報を得る必要がない	無回答
年代別	10・20歳代	84	1.2	10.7	32.1	54.8	1.2
	30歳代	104	4.8	11.5	28.8	49.0	5.8
	40歳代	159	1.9	17.6	35.2	43.4	1.9
	50歳代	215	1.4	23.3	33.5	38.1	3.7
	60歳代	332	2.1	27.1	26.5	40.7	3.6
	70・80歳代	247	1.2	23.5	30.0	39.7	5.7

問 24 で「1」、「2」、「3」(情報入手しようとした)を選んだ方にお聞きします。

問 25 あなたは「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

「福祉サービス」に関する情報の入手先については、「市役所の窓口や広報紙」が 59.8%で最も高く、次いで「近所の人・知人・友人」が 23.2%、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が 21.0%となっています。



■性別・年代別

性別にみると、女性では「近所の人・知人・友人」が28.5%と、男性に比べて高くなっています。

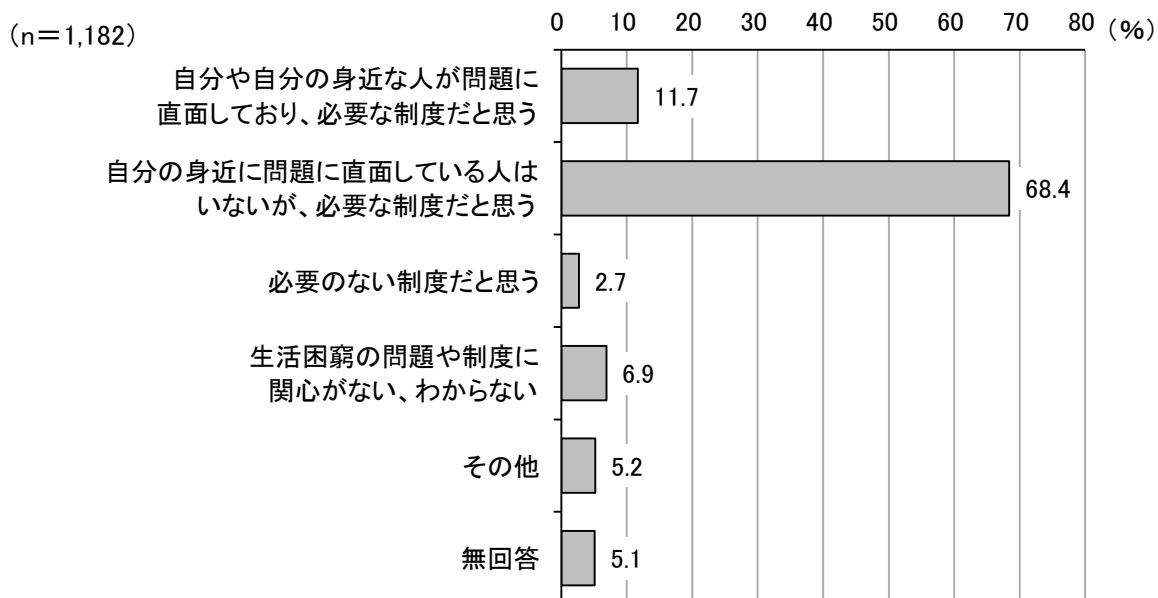
年代別にみると、50歳代、60歳代では「市役所の窓口や広報紙」が6割台半ば、「居宅介護支援事業者（ケアマネジャー）やホームヘルパー」が2割台前半から2割台半ばと、他の年代に比べて高くなっています。また、10歳代から40歳代では「インターネット」が2割台後半から4割台前半と、他の年代に比べて高くなっています。

単位(%)		サンプル数(人)	市役所の窓口や広報紙	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	近所の人・知人・友人	居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)やホームヘルパー	インターネット	社会福祉協議会
性別	男性	267	59.2	20.2	16.9	16.9	19.9	16.5
	女性	347	59.4	21.6	28.5	17.9	15.3	10.1
年代別	10・20歳代	37	40.5	35.1	16.2	10.8	40.5	2.7
	30歳代	47	57.4	14.9	21.3	6.4	36.2	6.4
	40歳代	87	57.5	10.3	26.4	11.5	29.9	6.9
	50歳代	125	63.2	22.4	22.4	25.6	20.0	14.4
	60歳代	185	65.4	20.0	24.9	22.2	10.8	15.1
	70・80歳代	135	54.1	27.4	23.0	12.6	2.2	17.0

単位(%)		サンプル数(人)	民生委員児童委員	地域子育て支援センター	地域包括支援センター	その他	無回答
性別	男性	267	5.6	3.0	5.6	5.6	6.0
	女性	347	1.7	3.2	6.3	4.0	8.1
年代別	10・20歳代	37	0.0	8.1	2.7	10.8	2.7
	30歳代	47	2.1	21.3	6.4	8.5	10.6
	40歳代	87	1.1	3.4	3.4	2.3	5.7
	50歳代	125	1.6	0.0	4.0	4.0	8.8
	60歳代	185	5.4	1.6	9.7	5.9	5.4
	70・80歳代	135	5.2	0.0	5.2	2.2	8.9

問 26 あなたは生活困窮の問題や支援制度について、どう思われますか。(1つに○)

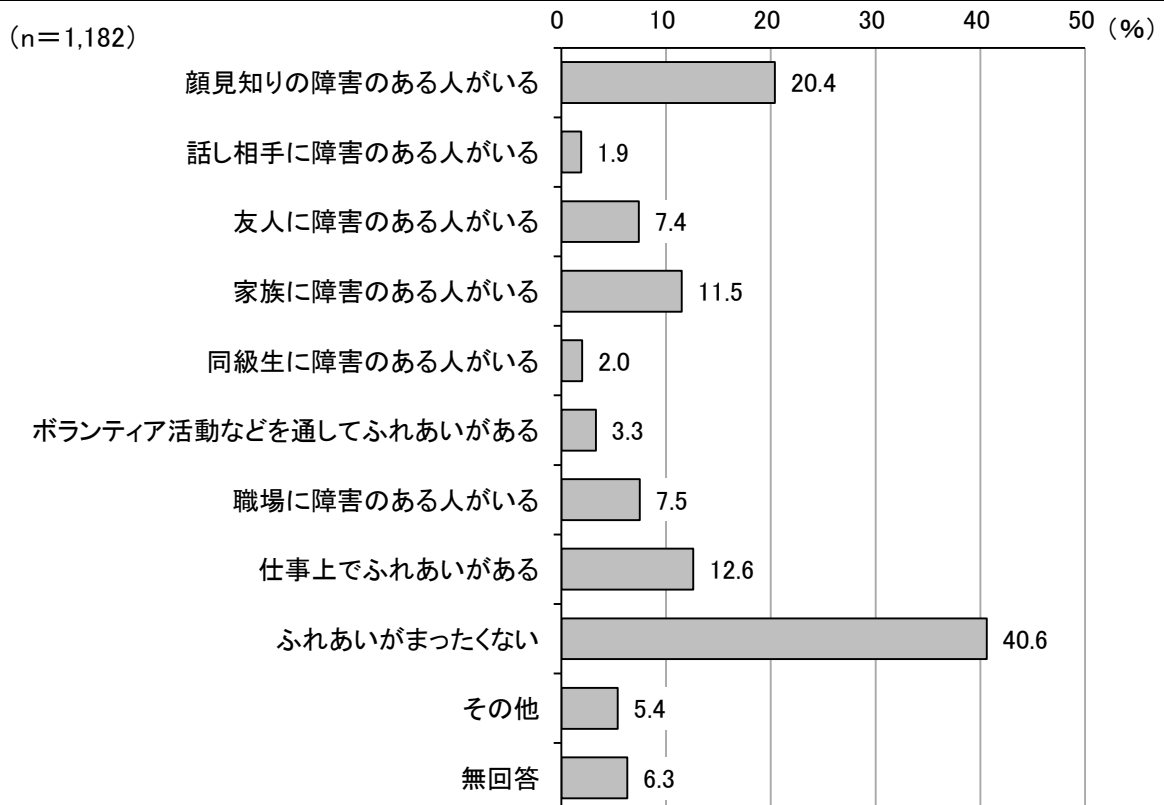
生活困窮の問題や支援制度について、どう思うかは、「自分の身近に問題に直面している人はいないが、必要な制度だと思う」が68.4%で最も高く、次いで「自分や自分の身近な人が問題に直面しており、必要な制度だと思う」が11.7%、「生活困窮の問題や制度に関心がない、わからない」が6.9%となっています。



5. 障害のある人とのふれあいについて

問 27 あなたは、日常生活の中で障害のある人とふれあう機会がありますか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活の中で障害のある人とふれあう機会があるかについては、「ふれあいがまったくない」が40.6%で最も高く、次いで「顔見知りの障害のある人がいる」が20.4%、「仕事上でふれあいがある」が12.6%となっています。



■年代別

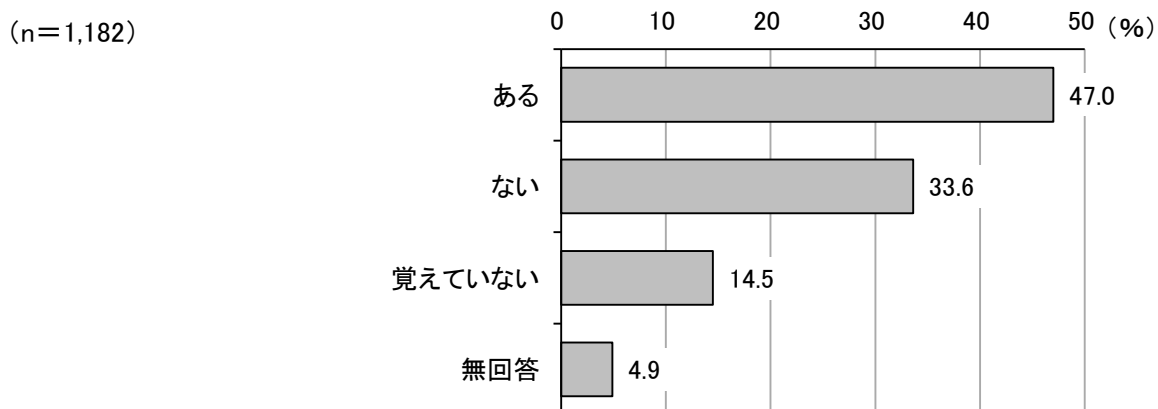
年代別にみると、全体と同様の傾向ですが、50歳代から80歳代では「顔見知りの障害のある人がいる」が2割台前半、10歳代から50歳代で「仕事上でふれあいがある」が1割台半ばから2割台半ばで、他の年代に比べて高くなっています。

単位(%)		サンプル数(人)	顔見知りの障害のある人がいる	話し相手に障害のある人がいる	友人に障害のある人がいる	家族に障害のある人がいる	同級生に障害のある人がいる	ボランティア活動などを通してふれあいがある
年代別	10・20歳代	84	13.1	2.4	6.0	11.9	6.0	7.1
	30歳代	104	18.3	1.9	9.6	11.5	6.7	2.9
	40歳代	159	15.7	0.6	5.0	14.5	1.3	0.0
	50歳代	215	20.5	2.3	4.2	13.5	1.9	2.3
	60歳代	332	22.9	1.5	9.0	9.6	1.2	4.8
	70・80歳代	247	21.5	2.4	7.7	10.1	0.8	3.6

単位(%)		サンプル数(人)	職場に障害のある人がいる	仕事上でふれあいがある	ふれあいがまったくない	その他	無回答
年代別	10・20歳代	84	9.5	25.0	36.9	3.6	3.6
	30歳代	104	13.5	19.2	43.3	1.9	1.9
	40歳代	159	11.3	23.3	35.8	5.0	5.0
	50歳代	215	10.2	16.3	41.4	4.2	6.0
	60歳代	332	6.3	7.2	43.1	6.3	3.9
	70・80歳代	247	1.2	4.0	40.1	7.3	11.3

問 28 あなたはこれまで、障害のある人に手助けをしたことがありますか。(1つに○)

これまで、障害のある人に手助けをしたことがあるかについては、「ある」が47.0%で最も高く、次いで「ない」が33.6%、「覚えていない」が14.5%となっています。



■性別・年代別

性別にみると、女性で「ある」が50.6%と、約半数となっています。

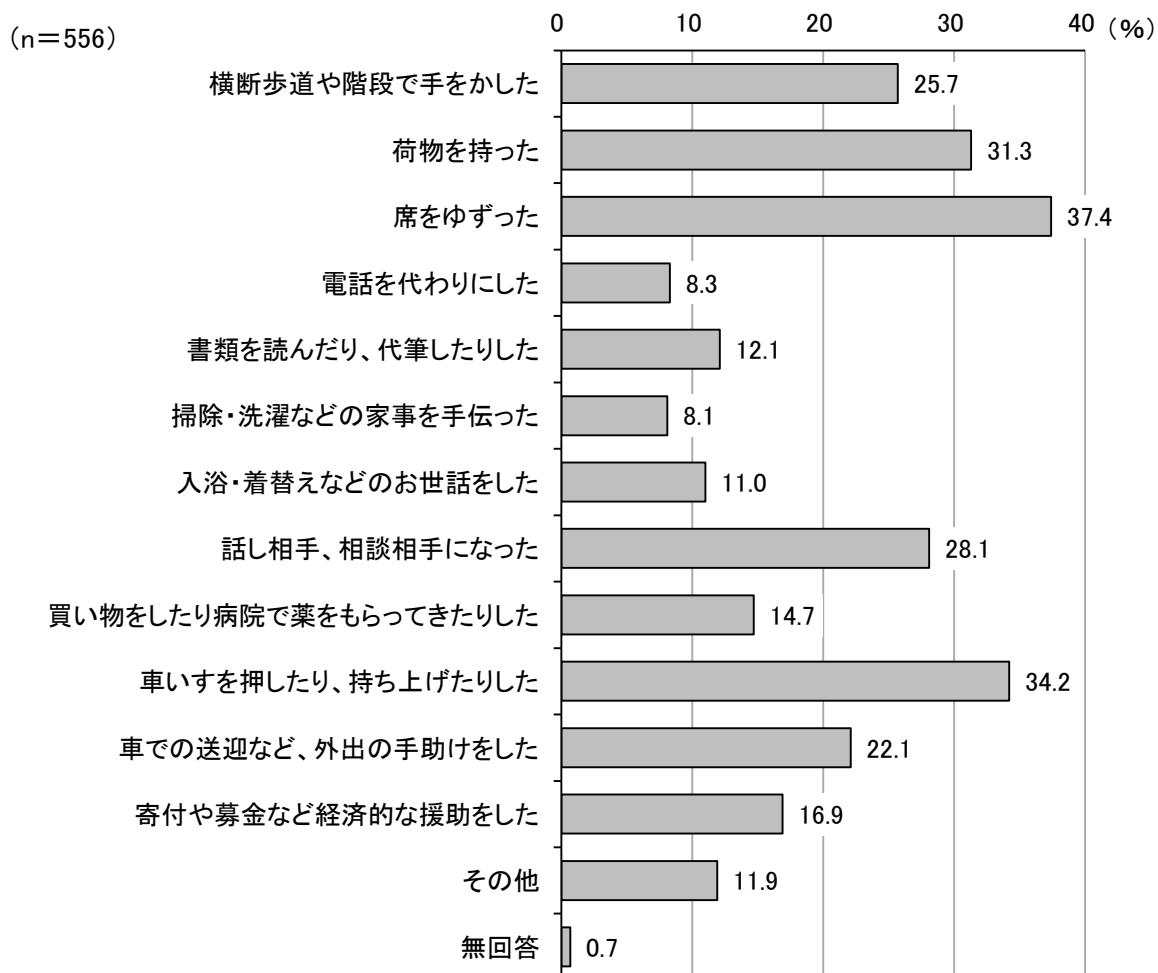
年代別にみると、30歳代で「ある」が60.6%と高くなっています。また、70・80歳代では「ない」が45.7%で最も高くなっています。

単位 (%)		サンプル数 (人)	ある	ない	覚えていない	無回答
性別	男性	495	43.4	35.2	17.0	4.4
	女性	640	50.6	32.8	12.2	4.4
年代別	10・20歳代	84	52.4	15.5	29.8	2.4
	30歳代	104	60.6	24.0	13.5	1.9
	40歳代	159	49.7	23.3	22.0	5.0
	50歳代	215	50.2	28.4	17.2	4.2
	60歳代	332	46.4	41.9	9.3	2.4
	70・80歳代	247	37.2	45.7	8.1	8.9

問 28 で「1」(手助けをしたことがある)を選んだ方にお聞きします。

問 29 それは、どのような手助けでしたか。(あてはまるものすべてに○)

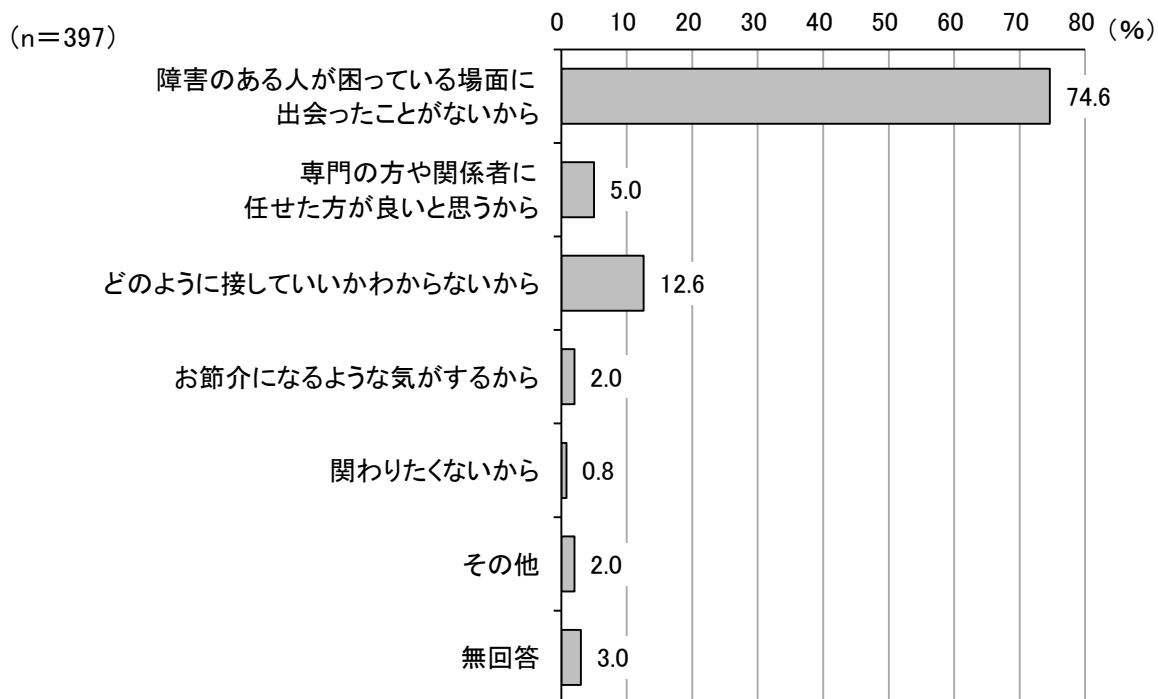
どのような手助けかについては、「席をゆずった」が37.4%で最も高く、次いで「車いすを押したり、持ち上げたりした」が34.2%、「荷物を持った」が31.3%となっています。



問 28 で「2」(手助けをしたことがない)を選んだ方にお聞きします。

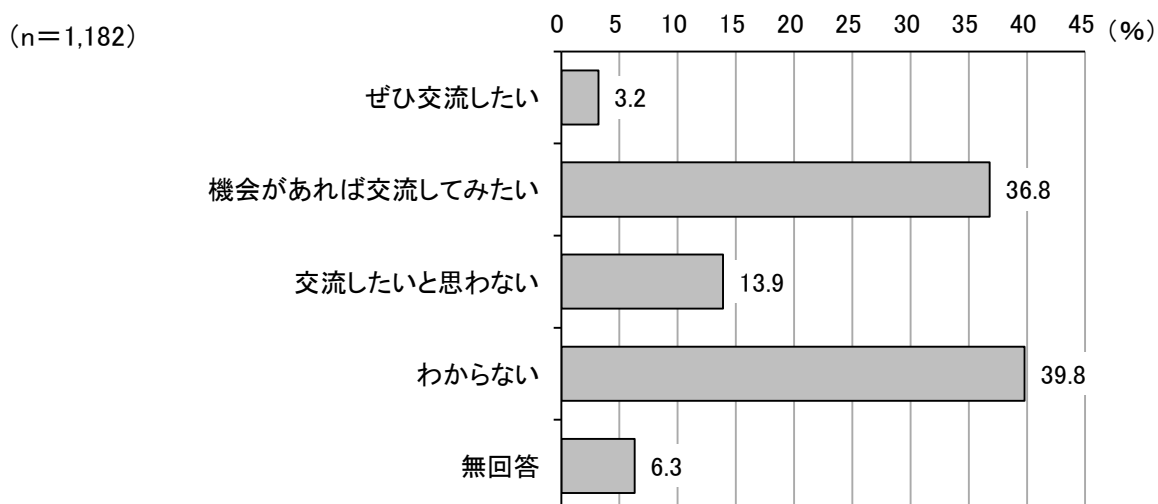
問 30 手助けをしたことがない主な理由は何ですか。(1つに○)

手助けをしたことがない主な理由については、「障害のある人が困っている場面に出会ったことがないから」が 74.6%で最も高く、次いで「どのように接していいかわからないから」が 12.6%、「専門の方や関係者に任せた方が良いと思うから」が 5.0%となっています。



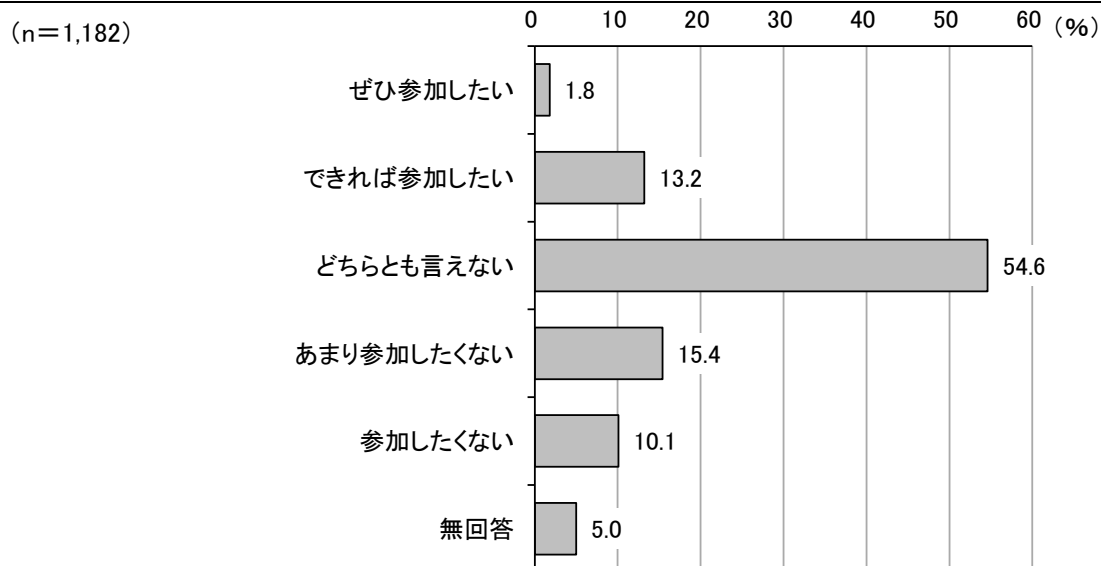
問 31 あなたは今後、障害のある人と交流したいと思いますか。(1つに○)

今後、障害のある人と交流したいかについては、「わからない」が 39.8%で最も高く、次いで「機会があれば交流してみたい」が 36.8%、「交流したいと思わない」が 13.9%となっています。



問 32 今後、障害のある人に対するボランティア活動に参加してみたいと思いますか。(1つに○)

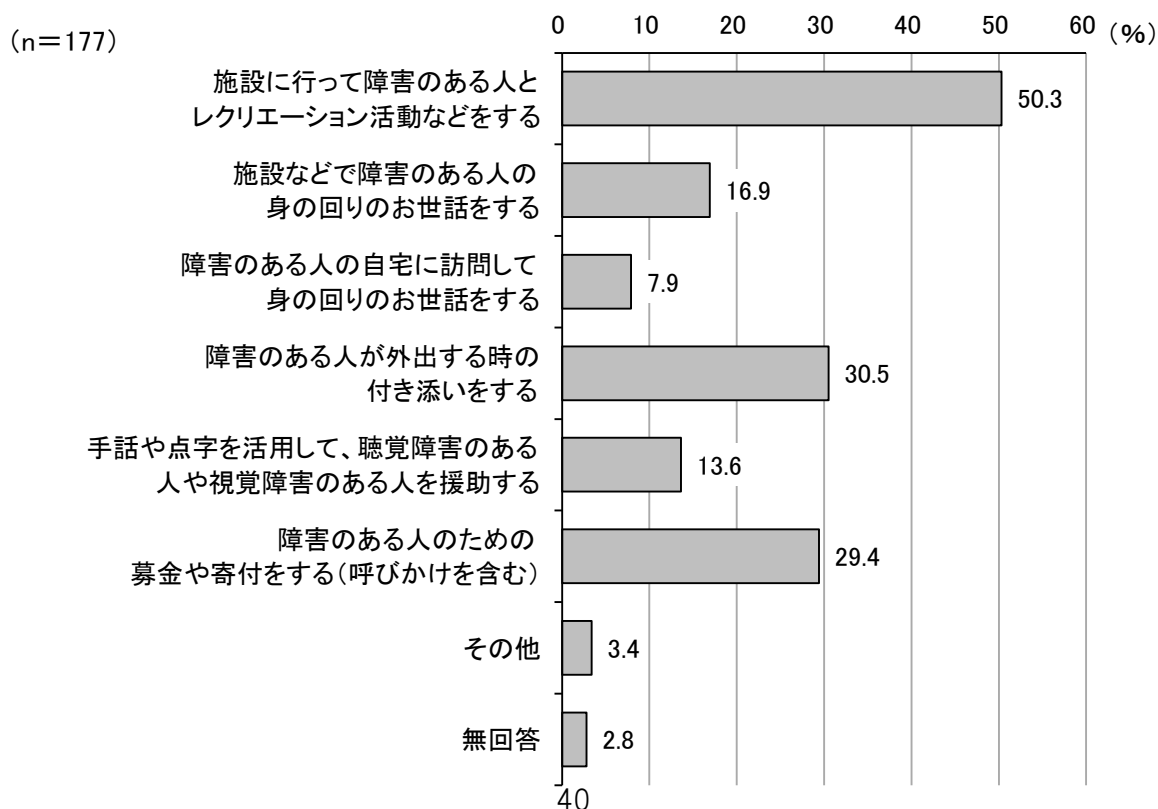
今後、障害のある人に対するボランティア活動に参加してみたいかについては、「どちらとも言えない」が54.6%で最も高く、次いで「あまり参加したくない」が15.4%、「できれば参加したい」が13.2%となっています。



問 32 で「1」、「2」(参加したい)を選んだ方にお聞きます。

問 33 具体的にどのような活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)

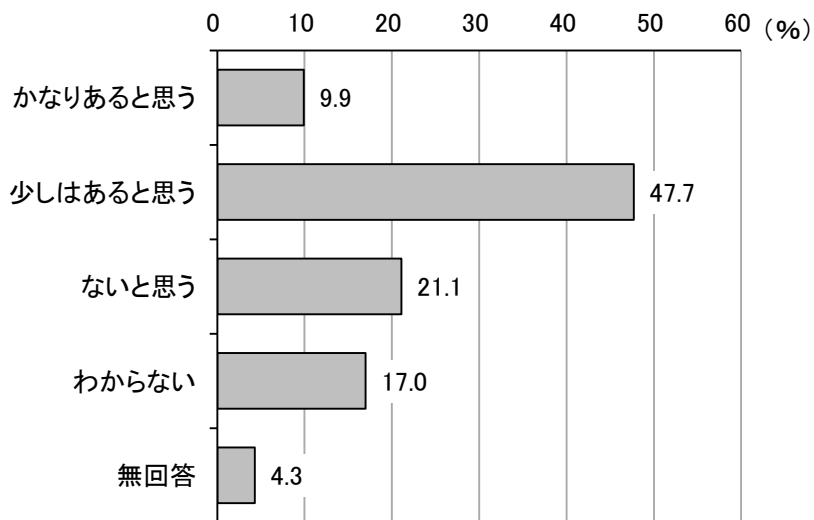
具体的にどのような活動に参加したいかについては、「施設に行って障害のある人とレクリエーション活動などをする」が50.3%で最も高く、次いで「障害のある人が外出する時の付き添いをする」が30.5%、「障害のある人のための募金や寄付をする(呼びかけを含む)」が29.4%となっています。



問 34 あなたの周りには、障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。(1つに○)

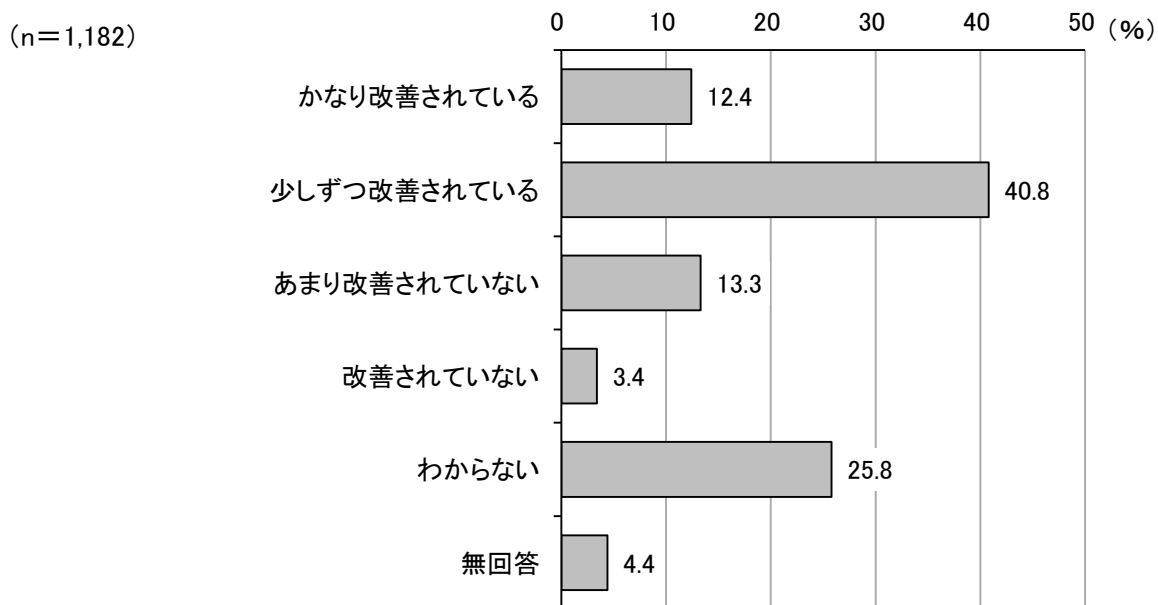
あなたの周りには、障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思うかについては、「少しはあると思う」が47.7%で最も高く、次いで「ないと思う」が21.1%、「わからない」が17.0%となっています。

(n=1,182)



問 35 およそ5～10年前と比べて、障害のある人に対する差別や偏見は改善されていると思いますか。(1つに○)

およそ5～10年前と比べて、障害のある人に対する差別や偏見は改善されていると思うかについては、「少しずつ改善されている」が40.8%で最も高く、次いで「わからない」が25.8%、「あまり改善されていない」が13.3%となっています。



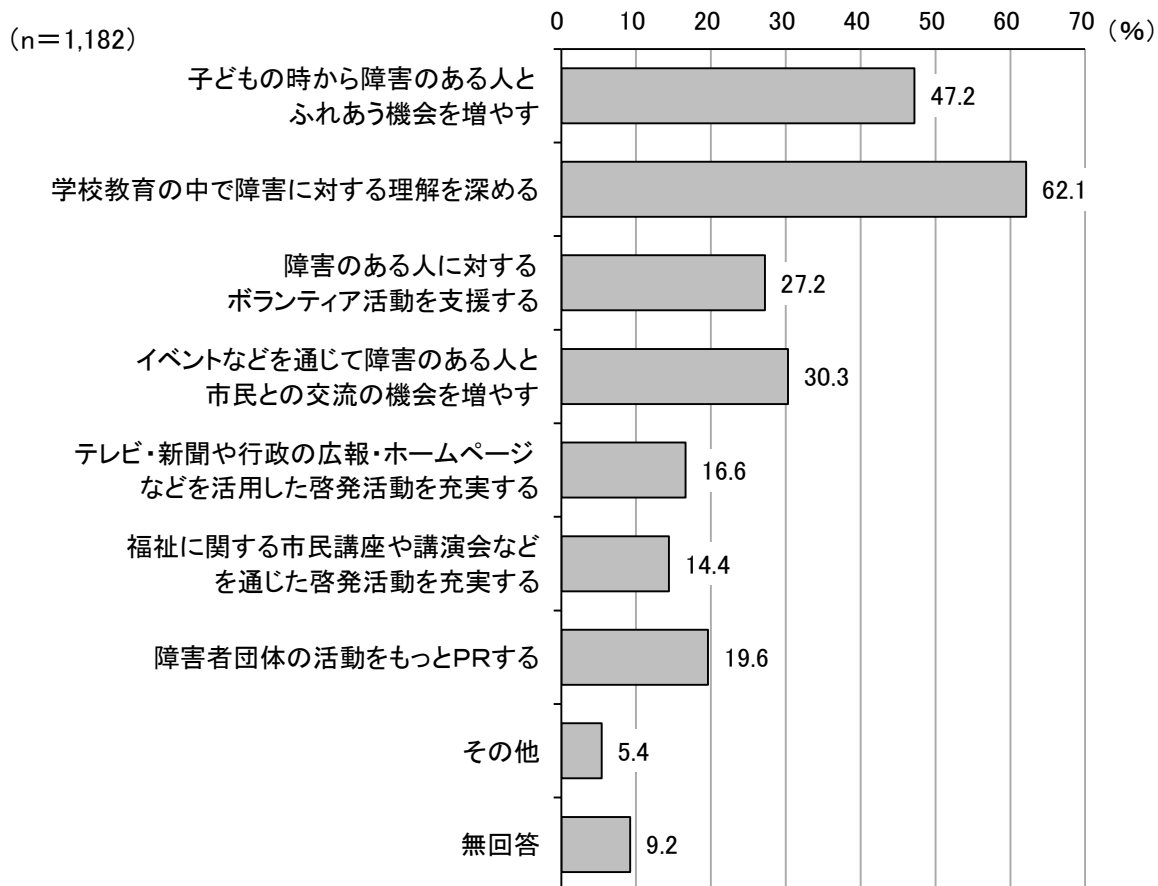
■年代別

年代別にみると、全体と同様の傾向ですが、60歳代から80歳代で「かなり改善されている」が1割台半ばと、他の年代に比べて高くなっています。

単位 (%)		サンプル数 (人)	かなり改善されている	少しずつ改善されている	あまり改善されていない	改善されていない	わからない	無回答
年代別	10・20歳代	84	3.6	44.0	23.8	2.4	23.8	2.4
	30歳代	104	8.7	37.5	22.1	2.9	28.8	0.0
	40歳代	159	9.4	40.3	20.8	5.0	20.8	3.8
	50歳代	215	8.8	45.1	14.9	3.7	23.7	3.7
	60歳代	332	16.6	45.2	9.6	1.8	24.1	2.7
	70・80歳代	247	15.8	34.8	4.9	3.6	32.0	8.9

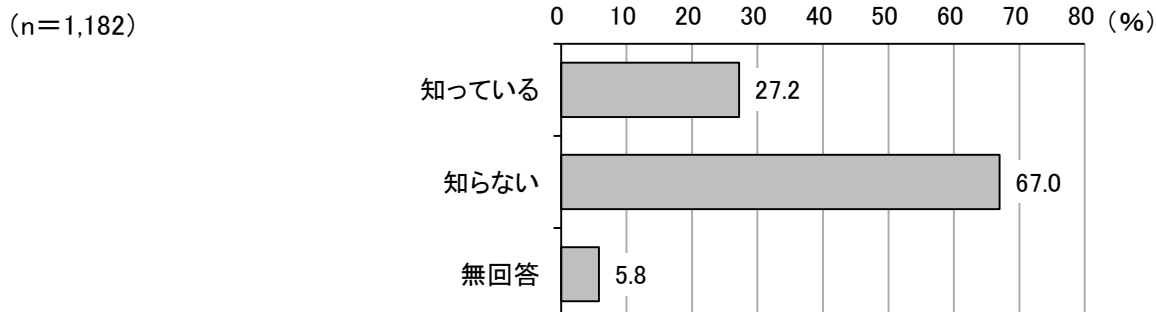
問 36 障害のある人に対する理解を深めるために、今後、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

障害のある人に対する理解を深めるために、今後、どのような取り組みが必要かについては、「学校教育の中で障害に対する理解を深める」が62.1%で最も高く、次いで「子どもの時から障害のある人とふれあう機会を増やす」が47.2%、「イベントなどを通じて障害のある人と市民との交流の機会を増やす」が30.3%となっています。



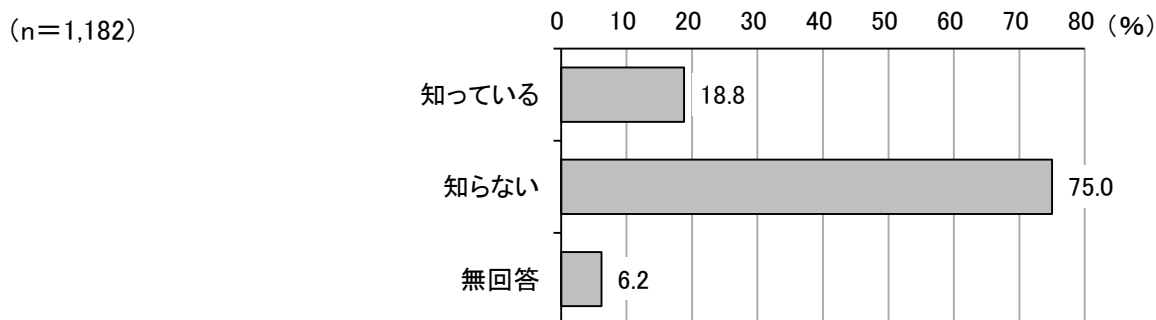
問 37 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」を知っていますか。（1つに○）

「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」を知っているかについては、「知らない」が67.0%で、「知っている」の27.2%を上回っています。



問 38 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていますか。（1つに○）

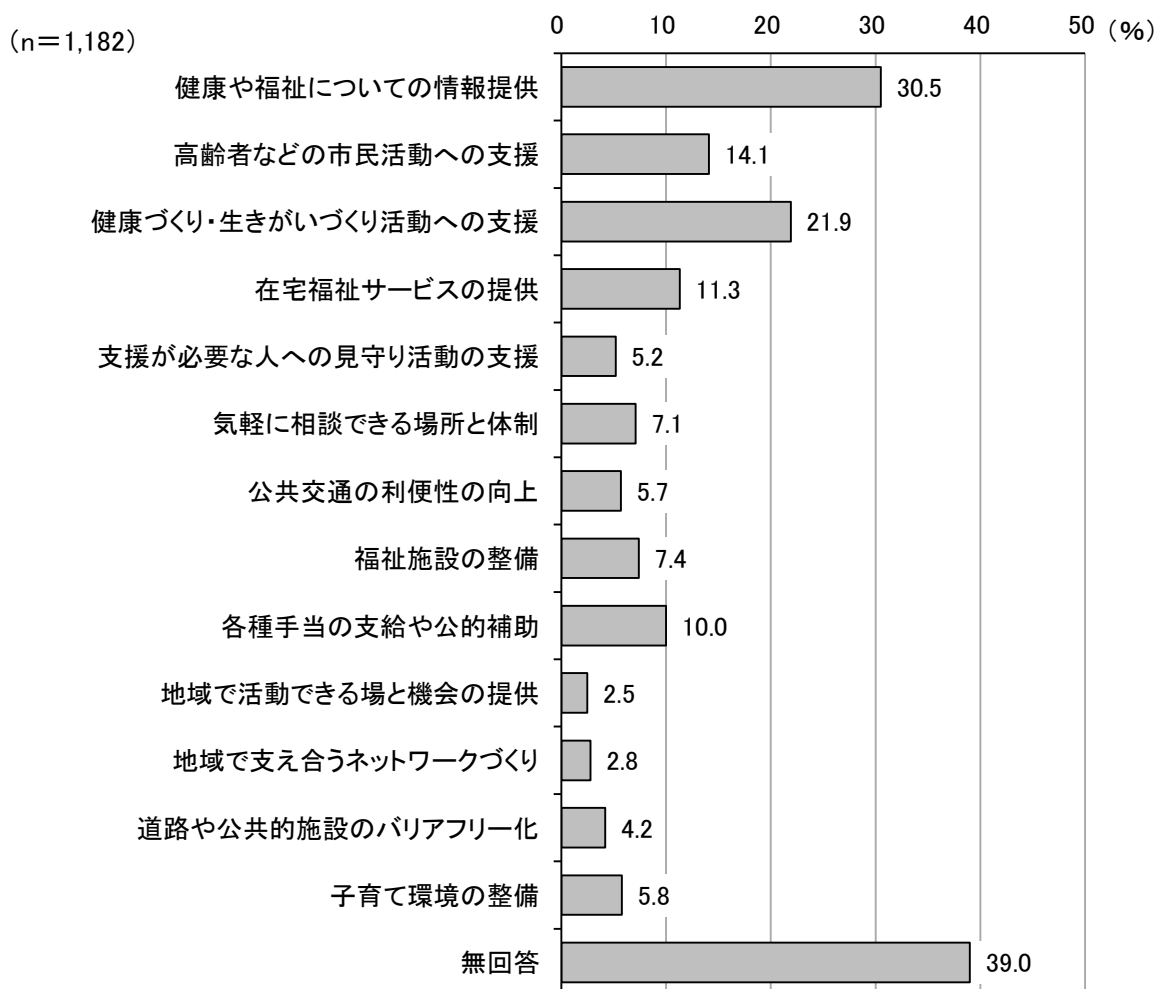
「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っているかについては、「知らない」が75.0%で、「知っている」の18.8%を上回っています。



6. 地域福祉のあり方について

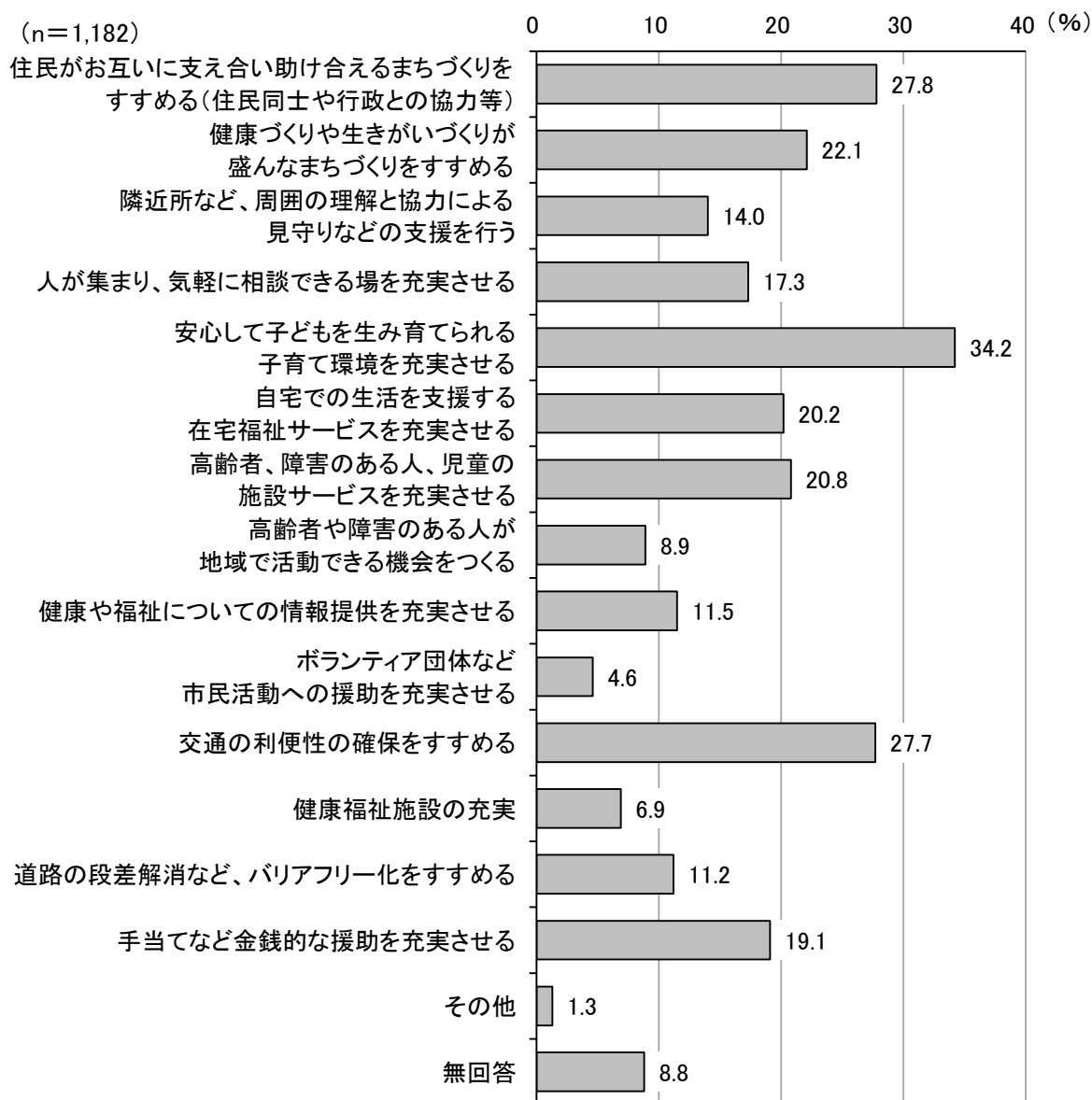
問 39 香取市の保健福祉施策について、充実していると感じる取り組みはどれですか。(3つまで○)

香取市の保健福祉施策で充実していると感じる取り組みについては、「健康や福祉についての情報提供」が30.5%で最も高く、次いで「健康づくり・生きがいつくり活動への支援」が21.9%、「高齢者などの市民活動への支援」が14.1%となっています。



問 40 香取市の保健福祉施策を今後、より充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。(3つまで〇)

香取市の保健福祉施策を今後より充実していくために、重要と考える取り組みについては、「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が34.2%で最も高く、次いで「住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる(住民同士や行政との協力等)」が27.8%、「交通の利便性の確保をすすめる」が27.7%となっています。



■年代別

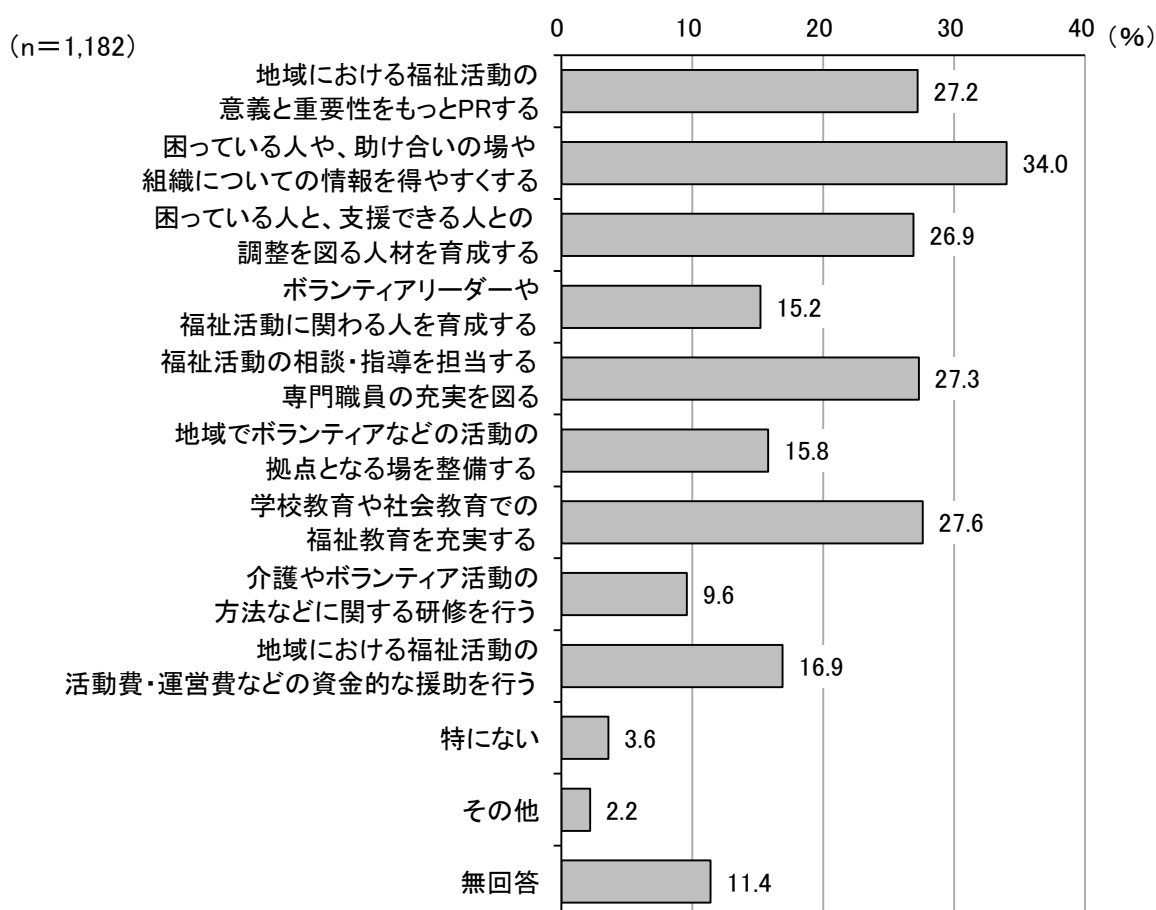
年代別にみると、60歳代以上では「住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる(住民同士や行政との協力等)」が3割台前半から後半、10歳代から50歳代では「安心して子どもを育てられる子育て環境を充実させる」が3割台後半から5割台半ばで、最も高くなっています。また、30歳代、40歳代で、「手当てなど金銭的な援助を充実させる」が3割台前半から4割半ばで、他の年代に比べて高くなっています。

単位(%)		サンプル数(人)	住民同士や行政との協力等	住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる(住宅)	健康づくりや生きがいづくりが盛んなまちづくりをすすめる	隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う	人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる	安心して子どもを育てられる子育て環境を充実させる	自宅での生活を支援する在宅福祉サービスの充実させる	高齢者、障害のある人、児童の施設サービスの充実させる	高齢者や障害のある人が地域で活動できる機会をつくる
年代別	10・20歳代	84	22.6	15.5	13.1	15.5	48.8	13.1	15.5	9.5	
	30歳代	104	19.2	15.4	5.8	17.3	56.7	9.6	21.2	6.7	
	40歳代	159	21.4	19.5	9.4	16.4	39.6	12.6	24.5	7.5	
	50歳代	215	26.5	17.7	11.6	19.5	37.7	21.9	23.7	13.5	
	60歳代	332	31.3	28.3	16.9	19.9	31.0	24.1	25.3	10.5	
	70・80歳代	247	38.1	27.5	21.1	15.8	23.1	27.9	15.0	5.7	

単位(%)		サンプル数(人)	健康や福祉についての情報提供を充実させる	ボランティア団体など市民活動への援助を充実させる	交通の利便性の確保をすすめる	健康福祉施設の充実	道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる	手当てなど金銭的な援助を充実させる	その他	無回答
年代別	10・20歳代	84	9.5	8.3	40.5	6.0	17.9	26.2	0.0	6.0
	30歳代	104	8.7	1.9	28.8	1.9	15.4	44.2	1.0	3.8
	40歳代	159	8.8	4.4	34.0	3.1	15.7	30.8	3.8	4.4
	50歳代	215	9.8	5.1	36.3	7.0	11.6	19.1	0.5	4.2
	60歳代	332	13.3	5.1	24.1	10.8	6.9	12.0	0.6	6.0
	70・80歳代	247	16.2	4.0	20.6	7.7	11.3	10.9	2.0	8.1

問 41 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(3つまで〇)

地域における助け合い、支え合い活動を活発にするために、重要だと思うことについては、「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」が34.0%で最も高く、次いで「学校教育や社会教育での福祉教育を充実する」が27.6%、「福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る」が27.3%となっています。



■年代別・地区別

年代別にみると、10・20歳代、30歳代、40歳代では「学校教育や社会教育での福祉教育を充実させる」が3割台半ばから4割台前半で他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、佐原地区では「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」が31.2%で、栗源地区では「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」と「困っている人と、支援できる人との調整を図る人材を育成する」が他の地区に比べて高くなっています。

単位(%)		サンプル数(人)	PRする	地域における福祉活動の重要性をもつと	情報の得やすさ	困っている人や、助けのい場や組織について	困っている人との調整を図る人	成する	福祉活動に関わる人を育	ボランティアリーダーや	を図る	担当する専門職員・指導を	福祉活動の相談・指導を	整備する	の活動の拠点となる場を	地域でボランティアなど
年代別	10・20歳代	84	31.0	28.6	25.0	14.3	21.4	14.3	30歳代	104	22.1	30.8	27.9	15.4	15.4	15.4
	30歳代	104	22.1	30.8	27.9	15.4	15.4	15.4	40歳代	159	20.8	39.6	24.5	10.1	22.0	18.9
	40歳代	159	20.8	39.6	24.5	10.1	22.0	18.9	50歳代	215	27.9	32.6	34.0	18.1	26.0	17.7
	50歳代	215	27.9	32.6	34.0	18.1	26.0	17.7	60歳代	332	31.0	38.3	26.5	19.3	34.6	16.0
	60歳代	332	31.0	38.3	26.5	19.3	34.6	16.0	70・80歳代	247	30.8	34.4	27.5	13.0	33.2	15.4
	70・80歳代	247	30.8	34.4	27.5	13.0	33.2	15.4	地区別	佐原地区	581	31.2	35.6	27.4	15.3	27.5
佐原地区	581	31.2	35.6	27.4	15.3	27.5	16.2	小見川地区		370	25.1	33.8	29.2	15.7	29.2	15.7
小見川地区	370	25.1	33.8	29.2	15.7	29.2	15.7	山田地区		123	24.4	33.3	21.1	14.6	26.0	20.3
山田地区	123	24.4	33.3	21.1	14.6	26.0	20.3	栗源地区		62	25.8	41.9	37.1	21.0	32.3	16.1
栗源地区	62	25.8	41.9	37.1	21.0	32.3	16.1									

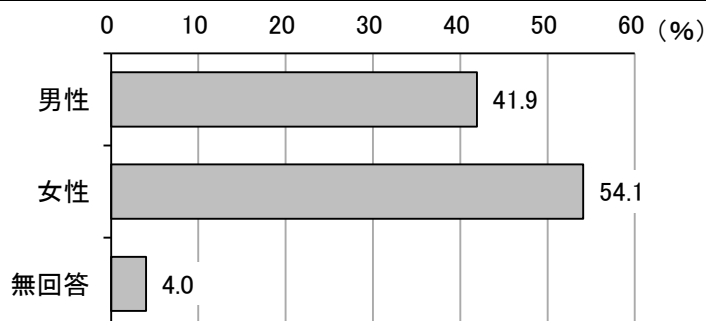
単位(%)		サンプル数(人)	福祉教育を充実する	学校教育や社会教育での	を行う	の法やボランティアに関する研修	介護やボランティア活動	金のな援助を行う	活動費・運営費などの資	地域における福祉活動の	特にな	その他	無回答			
年代別	10・20歳代	84	36.9	10.7	22.6	4.8	1.2	3.6	30歳代	104	40.4	4.8	21.2	2.9	4.8	2.9
	30歳代	104	40.4	4.8	21.2	2.9	4.8	2.9	40歳代	159	36.5	8.2	17.0	3.8	3.1	7.5
	40歳代	159	36.5	8.2	17.0	3.8	3.1	7.5	50歳代	215	23.7	13.5	17.7	4.2	2.8	6.0
	50歳代	215	23.7	13.5	17.7	4.2	2.8	6.0	60歳代	332	28.3	9.3	16.6	1.8	0.6	9.6
	60歳代	332	28.3	9.3	16.6	1.8	0.6	9.6	70・80歳代	247	19.8	10.9	15.8	5.7	2.8	13.4
	70・80歳代	247	19.8	10.9	15.8	5.7	2.8	13.4	地区別	佐原地区	581	27.4	8.6	17.6	3.6	2.1
佐原地区	581	27.4	8.6	17.6	3.6	2.1	9.3	小見川地区		370	31.6	12.2	17.8	4.1	2.7	6.5
小見川地区	370	31.6	12.2	17.8	4.1	2.7	6.5	山田地区		123	29.3	12.2	17.9	4.9	2.4	8.9
山田地区	123	29.3	12.2	17.9	4.9	2.4	8.9	栗源地区		62	19.4	4.8	14.5	0.0	1.6	11.3
栗源地区	62	19.4	4.8	14.5	0.0	1.6	11.3									

7. ご自身について

問 42 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

性別については、「女性」が54.1%で、「男性」の41.9%を上回っています。

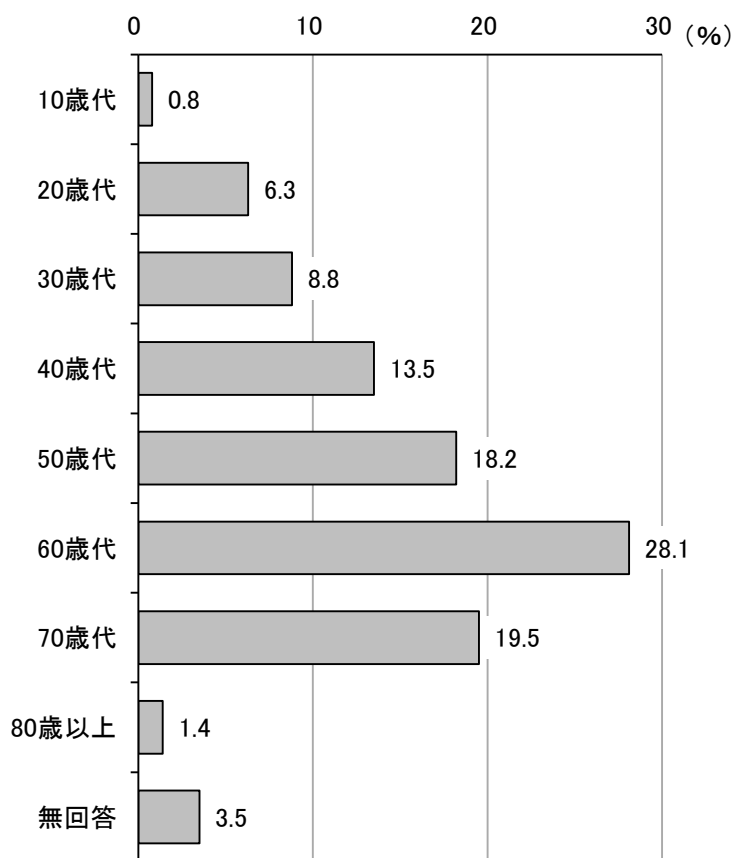
(n=1,182)



問 43 あなたの年代はどれですか。(1つに○)

年代については、「60歳代」が28.1%で最も高く、次いで「70歳代」が19.5%、「50歳代」が18.2%となっています。

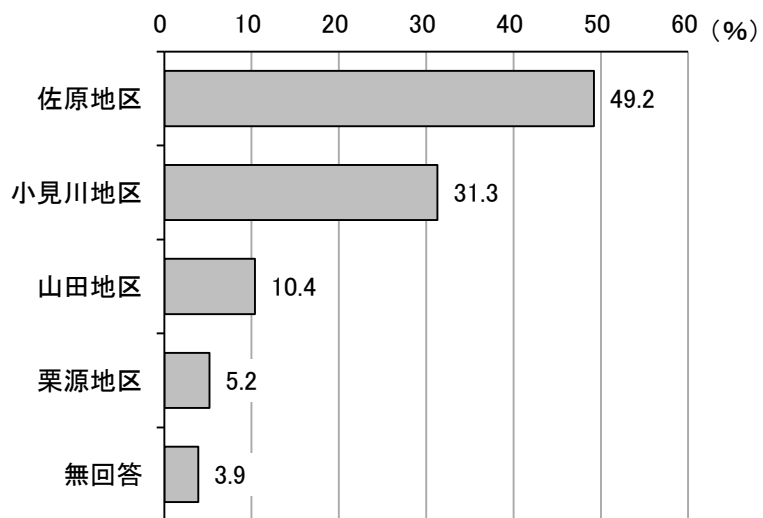
(n=1,182)



問 44 あなたが住んでいる地区は次のどれですか。(1つに○)

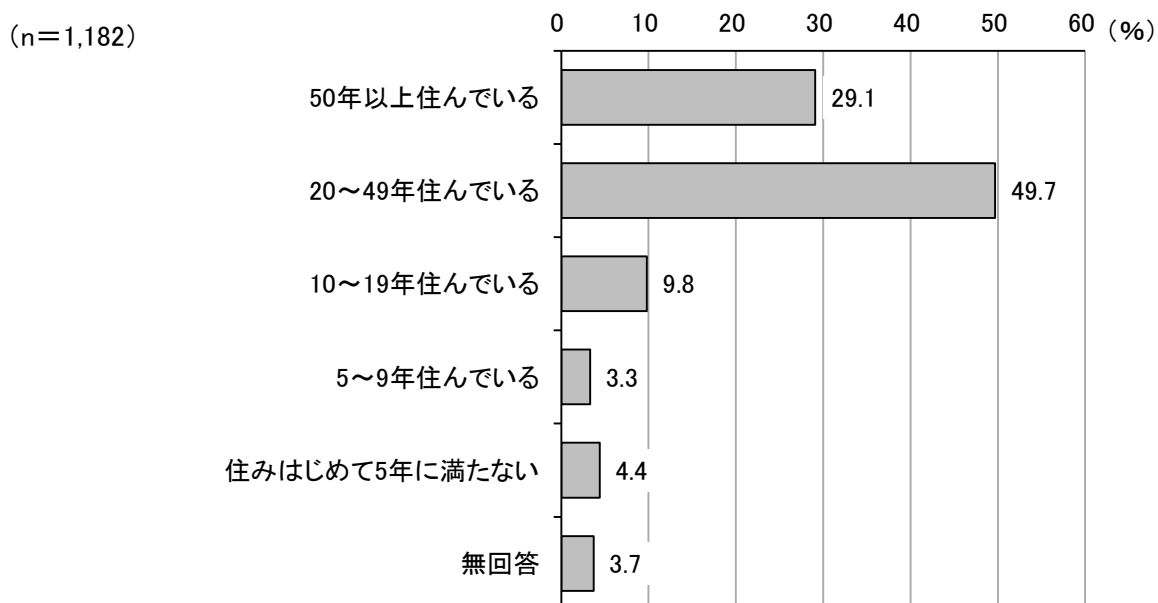
居住地区については、「佐原地区」が49.2%で最も高く、次いで「小見川地区」が31.3%、「山田地区」が10.4%となっています。

(n=1,182)



問 45 あなたは現在の地区(問 44 で回答された地区)に何年住んでいますか。(1つに○)

現在の地区に何年住んでいるかについては、「20～49年住んでいる」が49.7%で最も高く、次いで「50年以上住んでいる」が29.1%、「10～19年住んでいる」が9.8%となっています。



■性別・年代別・地区別

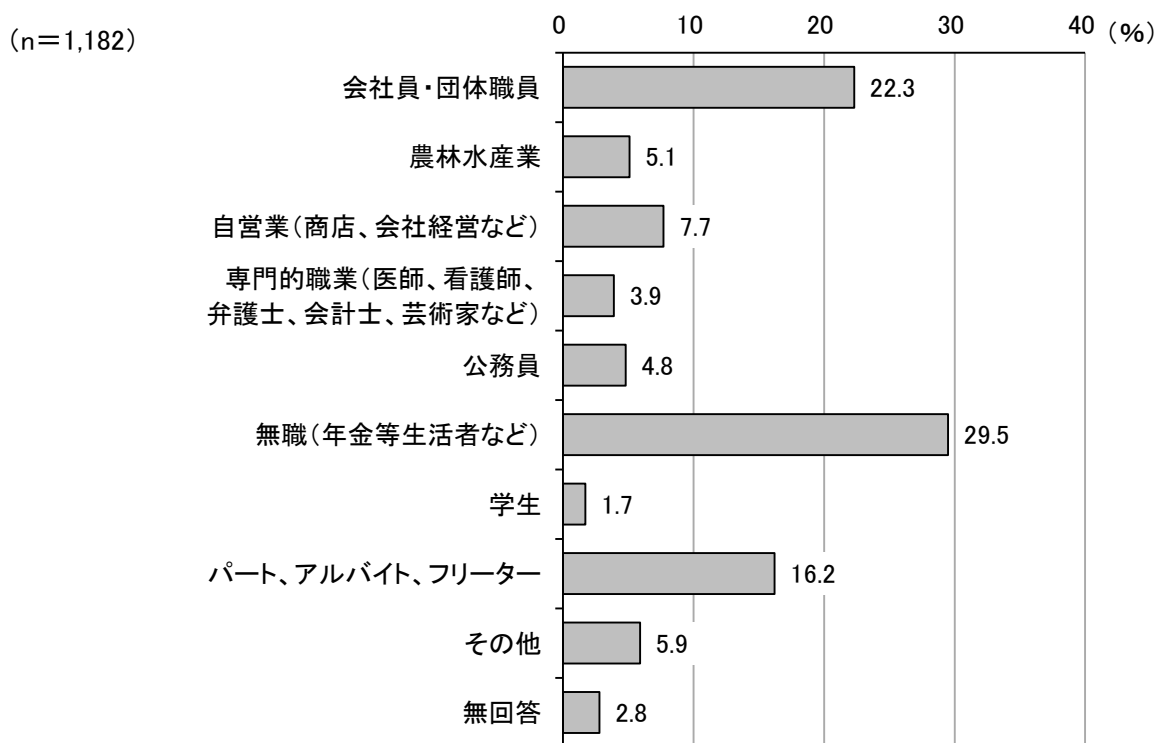
性別にみると、全体と同様の傾向ですが、男性では「50年以上住んでいる」が38.2%と、女性に比べて高くなっています。

年代別にみると、70・80歳代では「50年以上住んでいる」が55.1%で最も高くなっています。

単位 (%)		(サンプル数)	50年以上住んでいる	20～49年住んでいる	10～19年住んでいる	5～9年住んでいる	5年未満に満たない	無回答
性別	男性	495	38.2	45.9	10.7	2.0	3.2	0.0
	女性	640	23.8	55.8	9.7	4.5	5.6	0.6
年代別	10・20歳代	84	2.4	56.0	22.6	2.4	16.7	0.0
	30歳代	104	0.0	58.7	6.7	18.3	16.3	0.0
	40歳代	159	0.6	63.5	23.9	5.0	5.7	1.3
	50歳代	215	34.0	51.6	11.2	1.9	1.4	0.0
	60歳代	332	39.5	52.7	4.2	1.5	1.8	0.3
	70・80歳代	247	55.1	37.2	5.7	0.4	1.2	0.4

問 46 あなたの主な職業は何ですか。(1つに○)

主な職業については、「無職（年金等生活者など）」が29.5%で最も高く、次いで「会社員・団体職員」が22.3%、「パート、アルバイト、フリーター」が16.2%となっています。



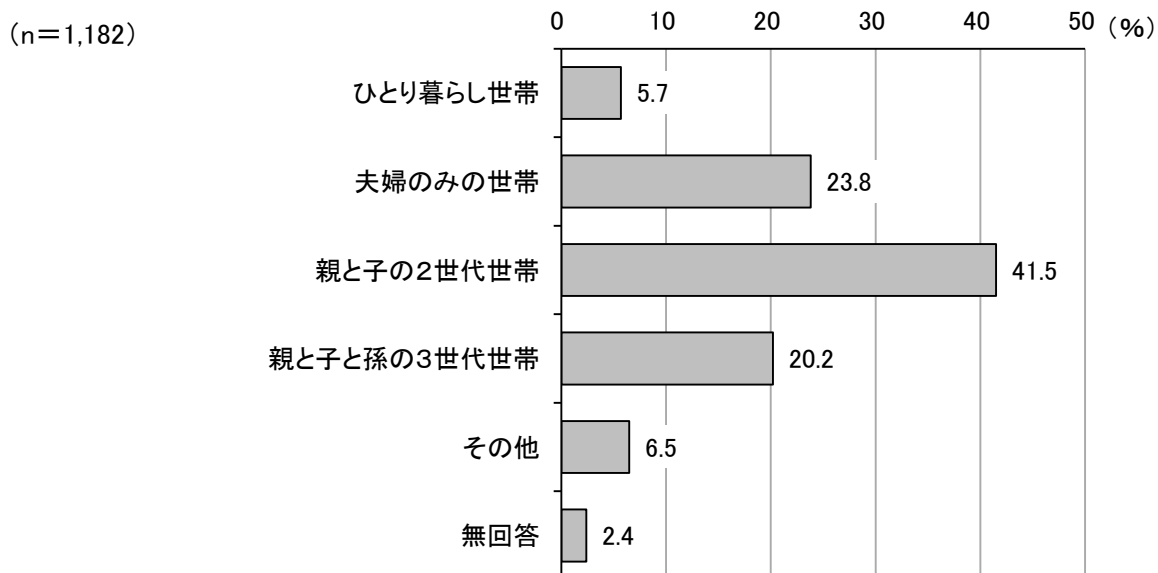
■年代別

年代別にみると、10歳代から50歳代では「会社員・団体職員」が2割台後半から4割台前半で最も高くなっています。

年代別	単位 (%)											
	サンプル数 (人)	会社員・団体職員	農林水産業	自営業 (商店、会社経営など)	専門的職業 (医師、看護師、 弁護士、会計士、芸術家など)	公務員	無職 (年金等生活者など)	学生	パート、アルバイト、フリーター	その他	無回答	
10・20歳代	84	33.3	0.0	2.4	9.5	10.7	2.4	23.8	14.3	3.6	0.0	
30歳代	104	38.5	2.9	3.8	11.5	7.7	8.7	0.0	18.3	7.7	1.0	
40歳代	159	41.5	3.8	6.3	3.1	10.1	4.4	0.0	23.9	3.1	3.8	
50歳代	215	27.0	2.8	8.4	5.1	9.8	9.8	0.0	25.1	8.4	3.7	
60歳代	332	16.6	6.3	9.3	2.1	0.3	40.4	0.0	17.2	6.3	1.5	
70・80歳代	247	3.2	7.7	9.3	0.8	0.0	66.4	0.0	3.6	5.3	3.6	

問 47 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(1つに○)

家族構成については、「親と子の2世代世帯」が41.5%で最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が23.8%、「親と子と孫の3世代世帯」が20.2%となっています。



■年代別

年代別にみると、70・80歳代では「夫婦のみの世帯」が40.9%で最も高くなっています。

単位 (%)		サンプル数 (人)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	親と子の2世代世帯	親と子と孫の3世代世帯	その他	無回答
年代別	10・20歳代	84	3.6	6.0	51.2	32.1	6.0	1.2
	30歳代	104	2.9	13.5	57.7	17.3	8.7	0.0
	40歳代	159	3.1	5.7	56.6	28.3	3.8	2.5
	50歳代	215	3.7	16.7	46.5	21.4	8.4	3.3
	60歳代	332	6.3	31.6	36.4	16.6	7.5	1.5
	70・80歳代	247	10.5	40.9	25.5	15.8	4.9	2.4

団体

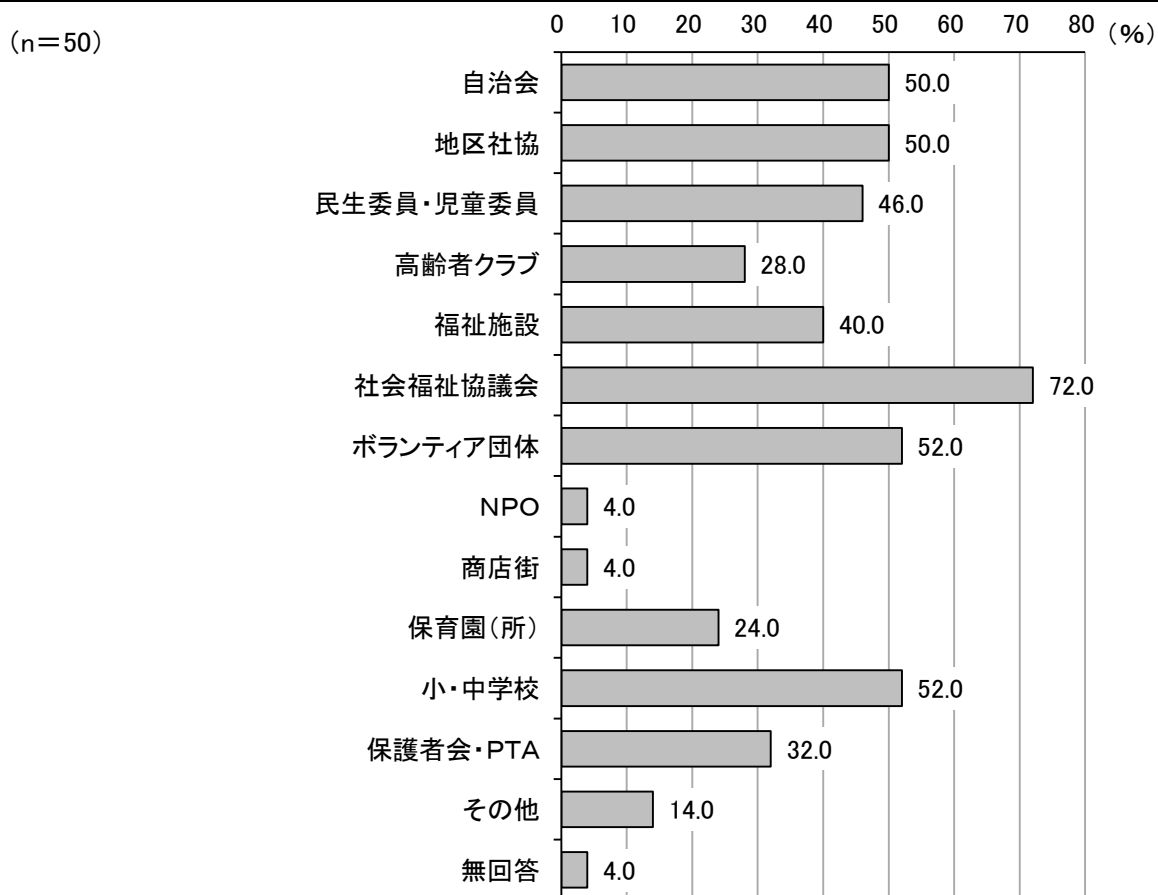
問1 貴団体の活動の中で、地域と一緒にいることや、地域に向けて行っていることはありますか。

地域と一緒にいることや、地域に向けて行っていることとしては、祭りやイベント、日常生活の中での交流等の他、各種支援・ボランティア等が挙げられました。

祭りやイベント
佐原フェスタ。山田ふるさと祭りなどへの参加。
山倉・大角春まつり（桜まつり）。
地区運動会（地域住民の参加）と、文化ふれあい交流（演劇の鑑賞）。
社会福祉協議会の行事に参加している。（障害者の運動会）
施設訪問、小学校運動会、高齢者とお茶会。
公民館まつり、施設イベント参加。
環境整備、高齢者見守り、芋煮会。
自然観察会、植物観察会、森林浴ウォーキング、青空工房日曜ざいく、里山で遊ぼう、そうめん流し、エダマメ収穫体験、親子ふれあい学級。
交流など
「おれんじきっさ」のお手伝い。
大倉地区ふれあい活動（高齢者+子供）⇒月/回あそぼう会。
香取市の佐原中央図書館、保育園、小学校でのお話会を通して子ども、保護者、祖父母へ絵本の楽しさを伝える。
鹿苑に訪問する方々へ餌やり体験ができるようにし、神鹿の由来や歴史の話等をしています。
チャリティバザー、男の料理教室、ふれあいスポーツ大会への協力。
各種支援・ボランティア
地区社協活動協力。配食サービスと見守り活動。
生活困窮者の就労支援の一環として、市内事業所等の協力を得て就労準備支援を行っている。
小学校での家庭教育学級や地域連携事業と協力しての活動を行っている。
1.キャップ・フルトップ地域の方をお願いをしてレインボーグループとして回収して社協に届けます。2.ゴミ0運動。地域のゴミステーションのそうじ等。
消火栓操作訓練。小野川掃除。町並み観光案内。
中央地区、独り暮らし高齢者の集い、配食サービス、中央小児童の登下校時見守り運動。
地域活動センターらいおん香取への協力。手話講習会への協力。手話サークルへの協力。
空き缶拾い、プルトップ収集の協力。

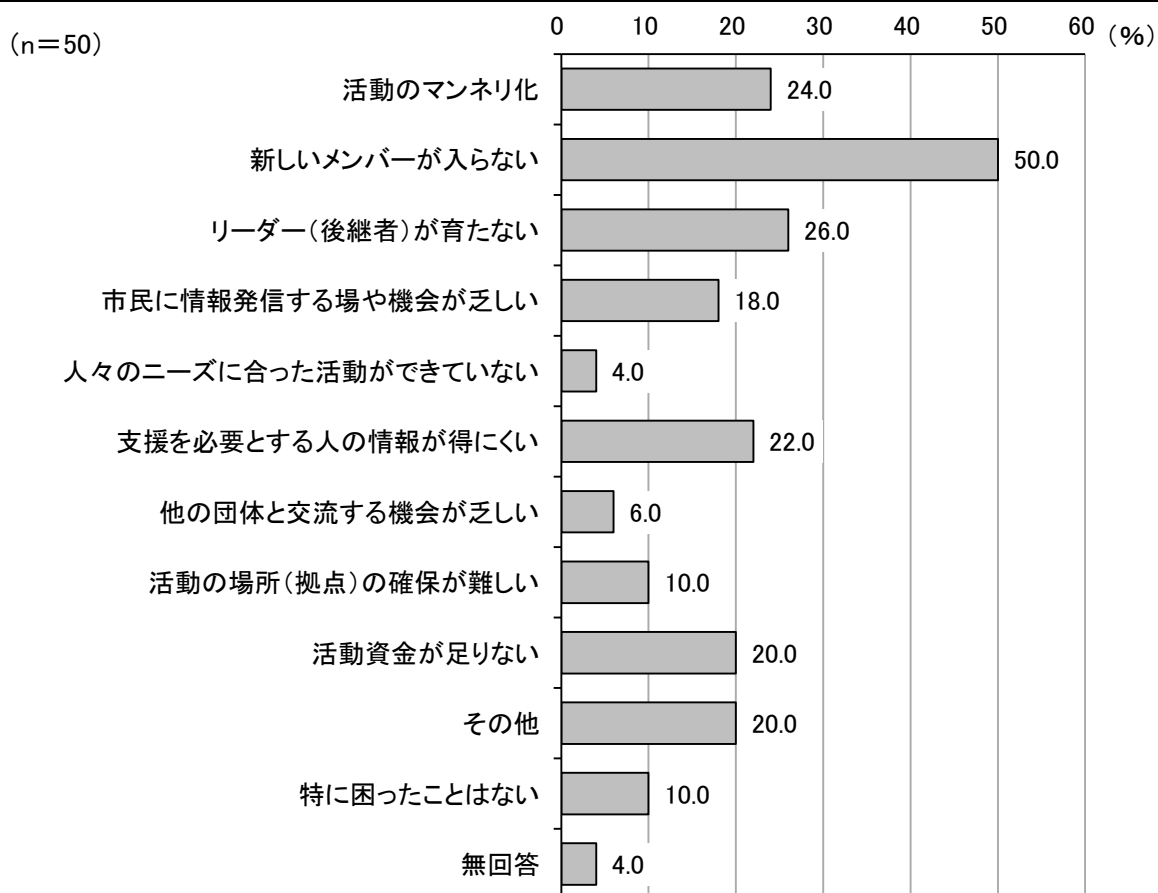
問 2 貴団体では、活動を行う上で他の団体や機関等との交流や連携、協力関係がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

活動を行う上で他の団体や機関等との交流や連携、協力関係があるかについては、「社会福祉協議会」が72.0%で最も高く、次いで「ボランティア団体」と「小・中学校」がともに52.0%となっています。



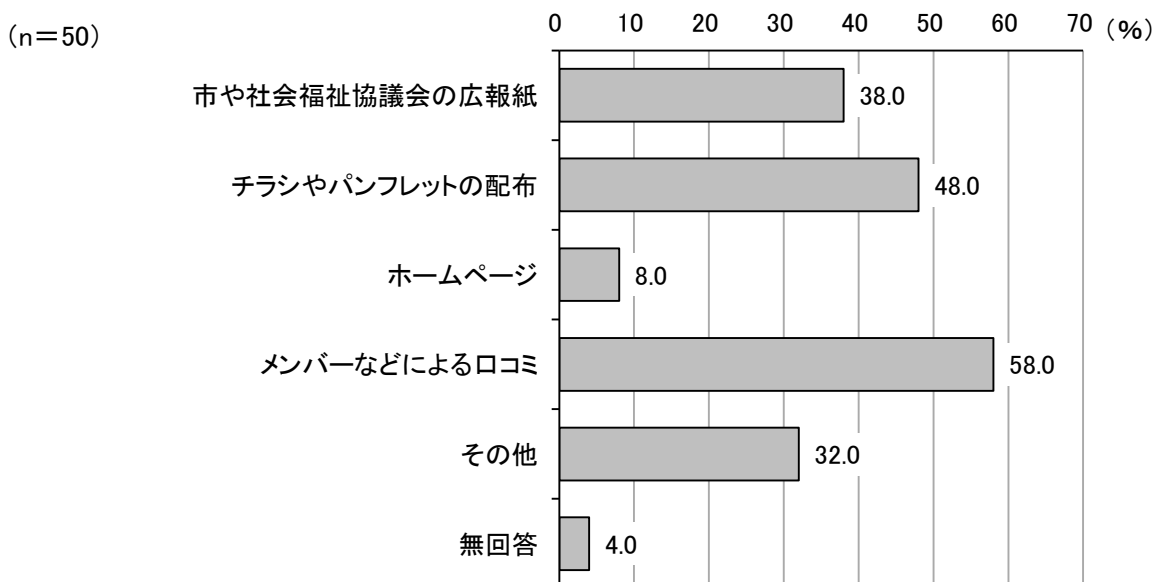
問 3 貴団体等が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

活動を行う上で困っていることについては、「新しいメンバーが入らない」が50.0%で最も高く、次いで「リーダー（後継者）が育たない」が26.0%、「活動のマンネリ化」が24.0%となっています。



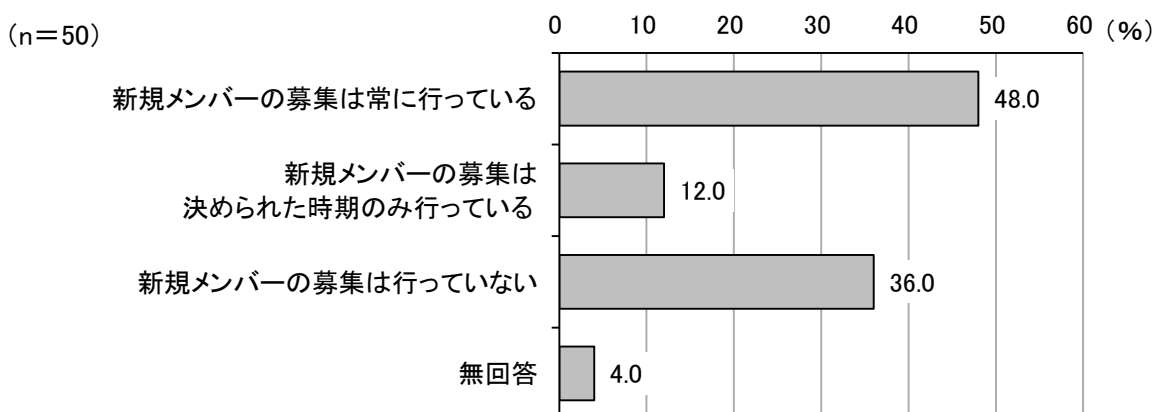
問4 貴団体では、団体の活動情報をどのように発信していますか。(あてはまるものすべてに○)

団体の活動情報をどのように発信しているかについては、「メンバーなどによる口コミ」が58.0%で最も高く、次いで「チラシやパンフレットの配布」が48.0%、「市や社会福祉協議会の広報紙」が38.0%となっています。



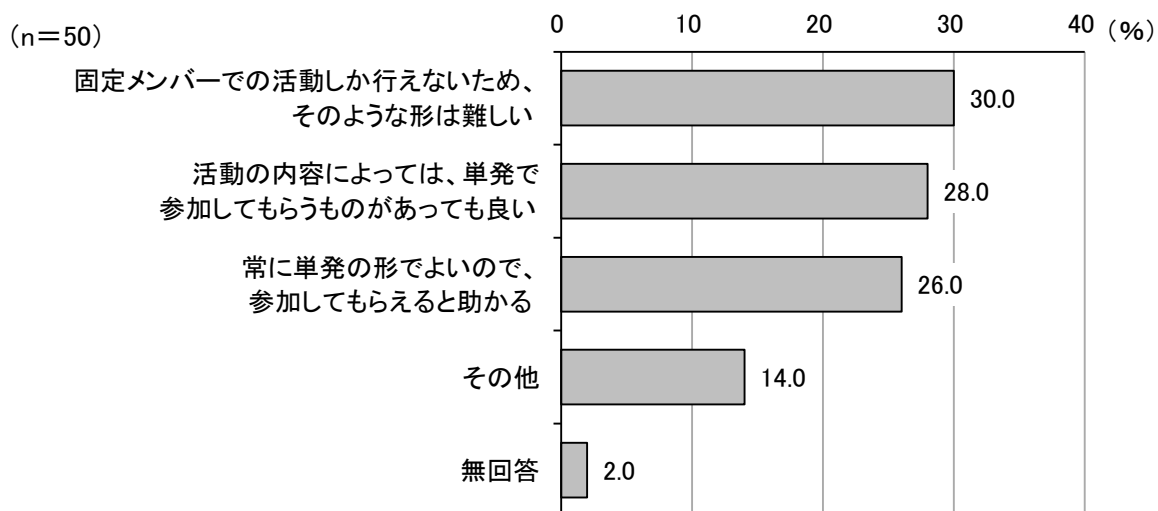
問5 貴団体では新規メンバーの募集を行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

新規メンバーの募集を行っているかについては、「新規メンバーの募集は常に行っている」が48.0%で最も高く、次いで「新規メンバーの募集は行っていない」が36.0%、「新規メンバーの募集は決められた時期のみ行っている」が12.0%となっています。



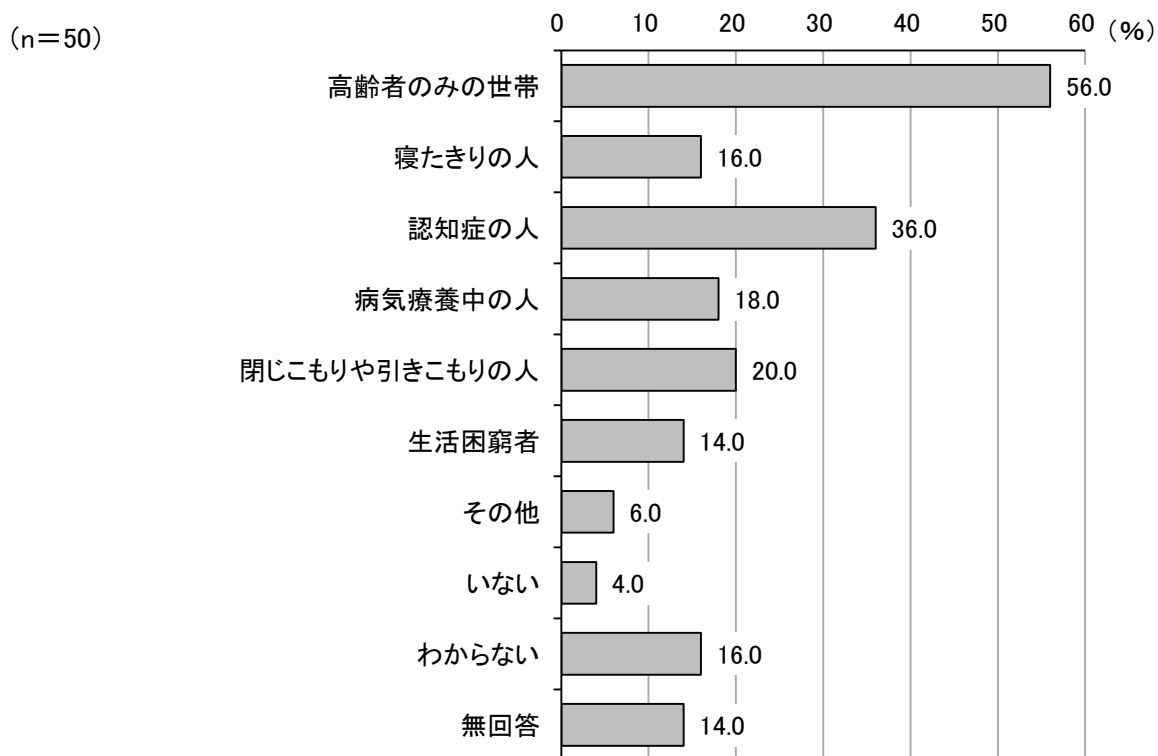
問 6 市民の方が気軽に活動に参加できるよう、市民の方が単発で、貴団体の活動に参加することは考えられますか。(あてはまるもの1つに○)

市民の方が気軽に活動に参加できるよう、市民の方が単発で、貴団体の活動に参加することが可能かについては、「固定メンバーでの活動しか行えないため、そのような形は難しい」が30.0%で最も高く、次いで「活動の内容によっては、単発で参加してもらっても良い」が28.0%、「常に単発の形でよいので、参加してもらえると助かる」が26.0%となっています。



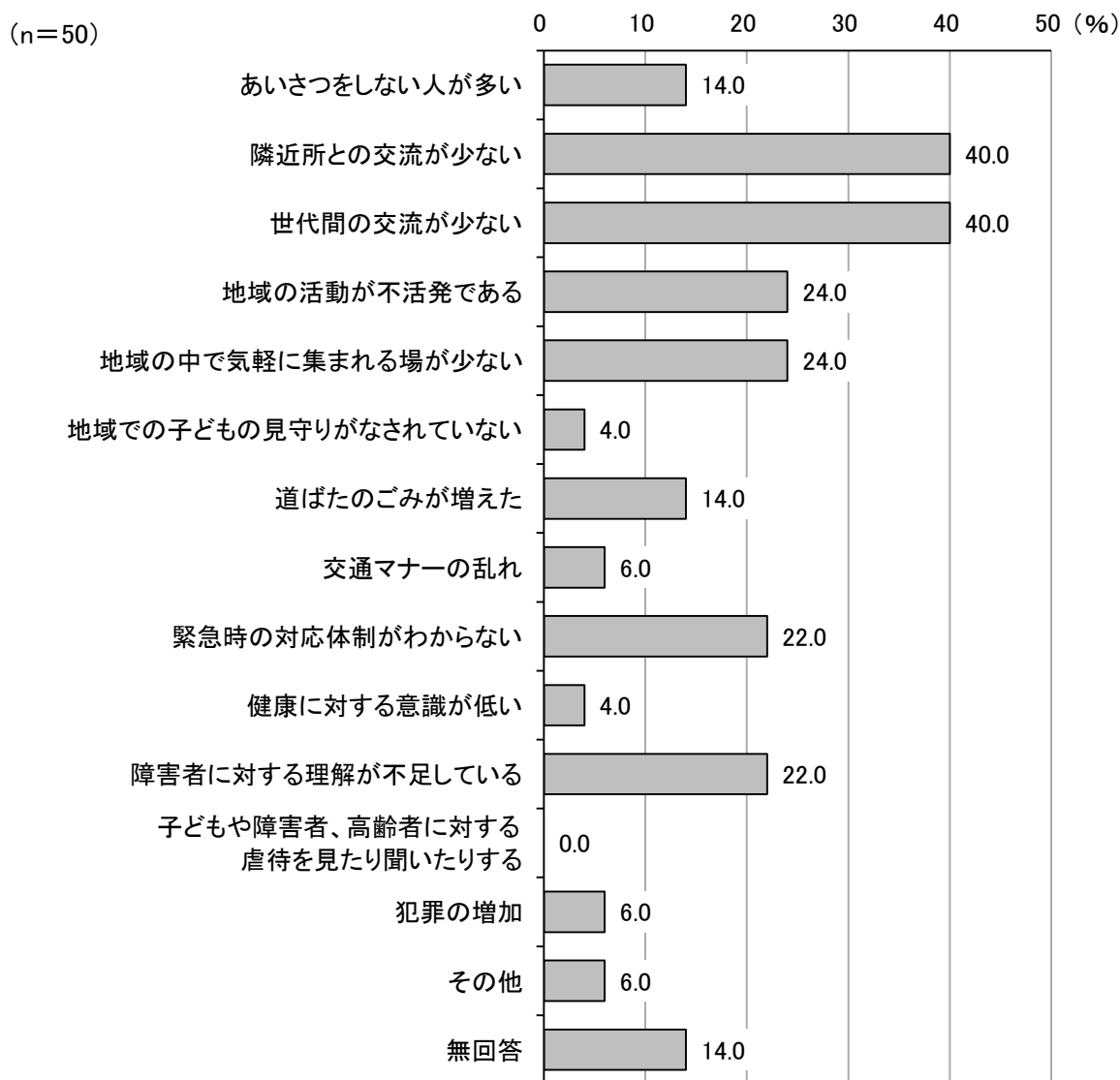
問7 活動する中で、地域の中に次のような見守り等支援が必要な人や、気にかかる人(何らかの課題を抱えている人)がいますか。(あてはまるものすべてに○)

活動する中で、地域の中にどのような見守り等支援が必要な人や、気にかかる人(何らかの課題を抱えている人)がいるかについては、「高齢者のみの世帯」が56.0%で最も高く、次いで「認知症の人」が36.0%、「閉じこもりや引きこもりの人」が20.0%となっています。



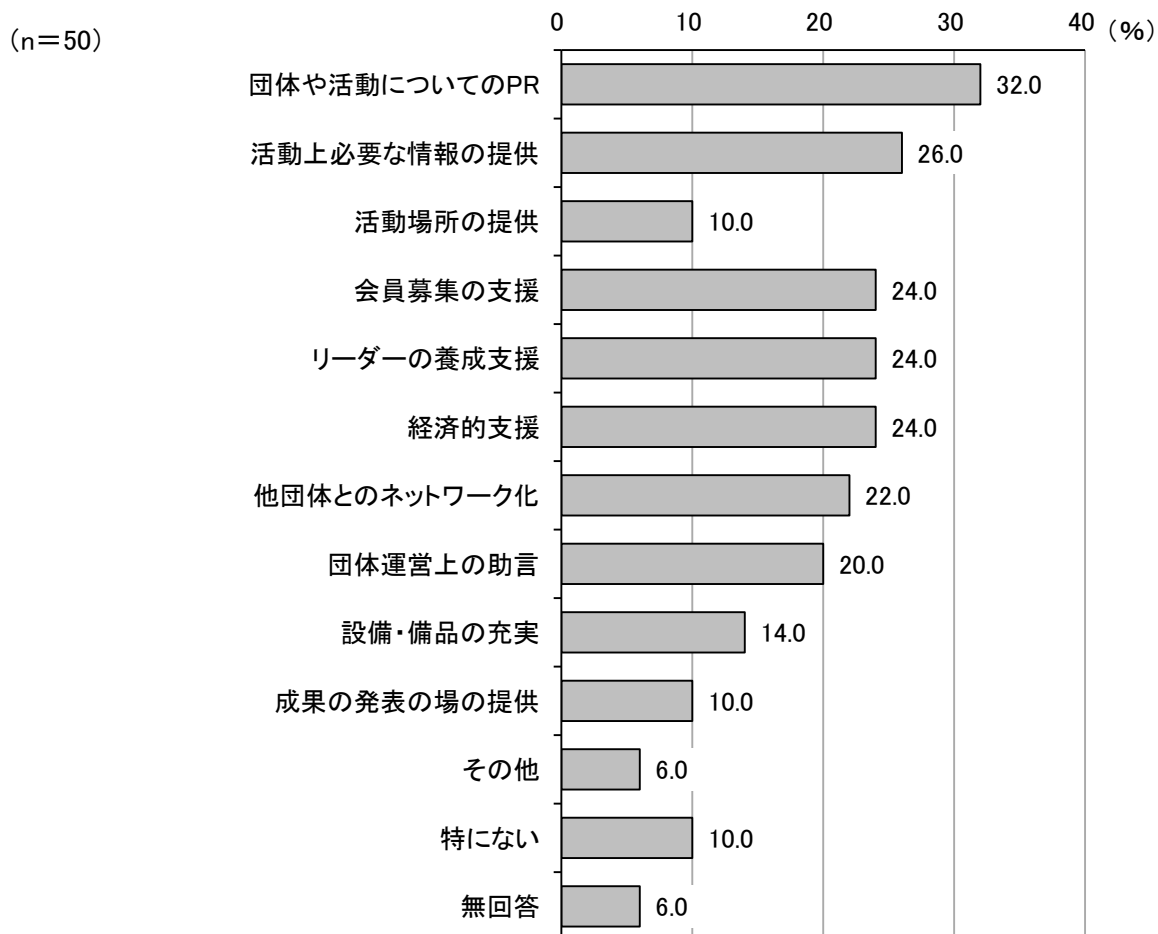
問 8 普段活動されている中で、地域の中での問題点・不足していると思うものはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

活動する中で、地域の中での問題点・不足していると思うものについては、「隣近所との交流が少ない」と「世代間の交流が少ない」がともに 40.0%で最も高く、次いで「地域の活動が不活発である」と「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」がともに 24.0%となっています。



問 9 貴団体が活動をしていく上で市に望むことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

活動をしていく上で市に望むことについては、「団体や活動についての PR」が 32.0%で最も高く、次いで「活動上必要な情報の提供」が 26.0%、「会員募集の支援」「リーダーの養成支援」「経済的支援」が並んで 24.0%となっています。



問 10 今後、貴団体として行政との協働でどのようなことに取り組めるとお考えですか。

連携・協働
ますます高齢者が増えていく中で、多忙な包括センターと一緒に精神的な面でカバーできたらと思っています。各ボランティア団体との連携が必要だと思います。
関係部署との連絡調整や情報提供。
コミュニケーションの発展と強化及び相互理解。
様々な取り組みは可能と思われるが、行政と団体の意識の交換、共通認識例えば「協働」とはどのようにすることかの意識が共有化されていない。
他の団体との交流のなかたちを行政と取り組めるとお考えです。他の団体の活動内容がわからず！バラバラ活動の感がある！
マッチング
必要としている人の情報。配布先の人らの要望。
行政からのニーズの情報提供です。（利用者が年々減少しています。）
地域活動・ボランティアの担い手
一番は、会員ボランティアの募集ですが、公民館の児童室のキャパもありあまり会員が多いと…危険な事もあるのでいつもその間で悩んでおります。
地域の担い手組織として、地域福祉事業へ参画する。
人材の育成、特にリーダーの育成と発掘。（人材に投資を。）
安心・安全
交通安全週間時に市職員、議員の方など目立つ啓発活動を行えばと考えます。
防災事業に取り組みたいです。
高齢化福祉の充実。（買物難民対策等）タクシーチケットの柔軟な対応。交通の便をよくする改善の取り組み。（市民の足）特急がなくなった。（観光客にも影響）過疎地にしない。（当団体の枠を超えた取り組みの部分は行政でお願いしたい。）
災害時対応策に取り組みたいです。
高齢者の見守り、子供達の安全パトロールなどは、現在地区ではいろいろな形で行われています。又、行政の方から要請があればできるだけ積極的に協力をしていきたいと思っています。
困っている人への支援活動
支援活動。（孤立、孤独の防止）生活支援。（買物、病院送迎の援助。）
高齢者の健康づくり・見守り等。防犯活動。子育て支援。環境整備。
手話の啓もうに関する活動。
その他個別の取り組み
農業を盛んにさせるような事業に支援協力していきたい。
ピカップが実現すれば、社会に新たな取り組みとして大きく注目されると思います。また、今後深刻となる超高齢化社会に対応するには必要不可欠な取り組みであり、実現するには行政の積極的な参画を市民に示す必要があると思います。1.市職員の個人的な参画。2.市長の車を初めとした市が所有する全ての車によるピカップへの参画。3.協力者募集の窓口。4.万が一の時の体制づくり。（弁護士な

ど。)
香取神宮の鹿たちは、地元住民にとっても大切だという声を多く頂いていますので、95%遠方ボランティアという現状を行政の協力も得られると、住民の方にも餌やりできる時間が広がり喜んで頂け、観光としても憩いの場になると思います。また環境面では棄てるクズ野菜や草刈りして焼却するものを鹿たちの食料とすることで、ゴミの削減、CO ₂ 削減につながります。奈良の鹿のように愛護会、春日大社（香取神宮）、行政、地域住民、商店会等が協力したら香取でももっと環境設備もでき案内できる時間も拡大し、憩いの場にできると思います。観光という点でも、鹿嶋よりも香取の方が今はきれいで鹿が人懐っこく、触れ合いができるとよく言われるので、鹿をもっとアピールした取り組みができるのではないかと思います。
メンバー高齢化の為、療育音楽の普及、推進を若い方に引き継げるようにしたい。
ことばは人を育てる。乳幼少期～児童期おける子どもの発達は急激顕著であります。この期に図書館・保育園・幼稚園・小学校等と連携しことばのふれあいの活動（語り・絵本の読み聞かせ）を通し絵本の楽しさを知ってもらおうと共に心の育ちの一助になればと思います。
空き店舗対策。独居老人対策。町並み保存事業の啓発。
まちづくり協議会は、自治会（区）と香取市の中に位置する団体でありながら認知度が低いため、住民参加も少なく又、役員も積極的でない現状である。まちづくり協議会を公的機関としてきちんと位置づけやりがいのある組織に香取市として考えてもらいたい。
清掃活動は当初より40年継続、その中で青少年の育成に努めてきましたが、小見川の花火大会後の清掃活動は継続したいと思います。
小学校合併後の施設の利活用。